

## 中国留日同学總會の財務状況の考察

——機関紙『中国留日学生報』の広告を中心に

荒川 雪

### はじめに

本稿の目的は、戦後初の中国人留日学生（台湾出身者を含む）の全国統一団体である中華民国留日同学總會（一九四九年九月に中国留日同学總會に改称、以下、同学總會）の機関紙『中国留日学生報』（以下、『学生報』）に掲載された広告記事を分析し、同学總會と『学生報』の運営方法、財務事情、そして『学生報』の読者層及びその広告記事に反映された同学總會と在日中国人、華僑、中国関連団体との関係を明らかにすることである。

『学生報』は、同学總會の機関紙として一九四七年一月に創刊された。筆者は同学總會について研究するため、一九四七年三月一〇日発行の第三号から一九五七年七月一日発行の第一一六号にかけて（欠号や紙面の一部を入手できなかった号あり）、同紙を収集（複写）しており、これらに掲載された計二八一本の広告記事を本稿での分析対象とする。なお、『学生報』の発行状況等については、既刊論文や資料で詳細に説明した成果を踏まえることにし、本稿での追加的な考察は行わない。

『学生報』に関する主な先行研究は、何義麟の著書『戦後在日台湾人的处境与認同』、及び田遠の博士論文「戦後直後における中国人留日学生の境遇と選択：1945-1952——主として『中国留日学生報』を通じて」とその一部を修正して刊行した著書『一九四五年終戦直後の中国人留日学生の境遇と選択——プランゲ文庫で辿る「国家像」』が最も注目される。しかし、『学生報』の広告記事に注目した研究は、筆者が所見した限り見つからない。本稿は、これまで注目されなかった広告記事に焦点を当て、戦後の中国人留日学生団体を代表する組織としての同学総会の運営及び財務状況、財務状況悪化時の対処方法、在日華僑や中国関連諸団体との関係、機関紙の発行時期による広告の使用言語や内容、広告主の違いと問題点を明らかにしたい。

## 一 『学生報』の読者層の言語状況

創刊当初、『学生報』では広告記事を掲載しておらず、同学総会の活動や日中両国のニュースを中心に報道していた。その記事について、主に使用された言語は中国語ではなく、日本語であった。例えば、筆者が確認できる最も古い『学生報』第三号（一九四七年三月一日刊行、図1）を見ると、日本語で書かれた記事が一六本に対し、中国語は九本にとどまった。同じ頁に、日本語と中国語の記事が混在していたことも、創刊当初の特徴として指摘できる。ただし、一九四七年七月一日刊行の第八号から国語版（中国語版）が設けられたことにより、中国語の記事は国語版に掲載されるようになった。

広告記事を見ると、こうした編集方針の変化とは関係なく、日本語の使用が際立つ。図2に示した通り、掲載された広告記事の九〇・七％は日本語のみで書かれており、中国語、日本語と中国語の併用を大きく上回った。

前述の通り、『学生報』は中国人留日学生の全国統一団体機関紙としての性質上、中国語と日本語、両方使って



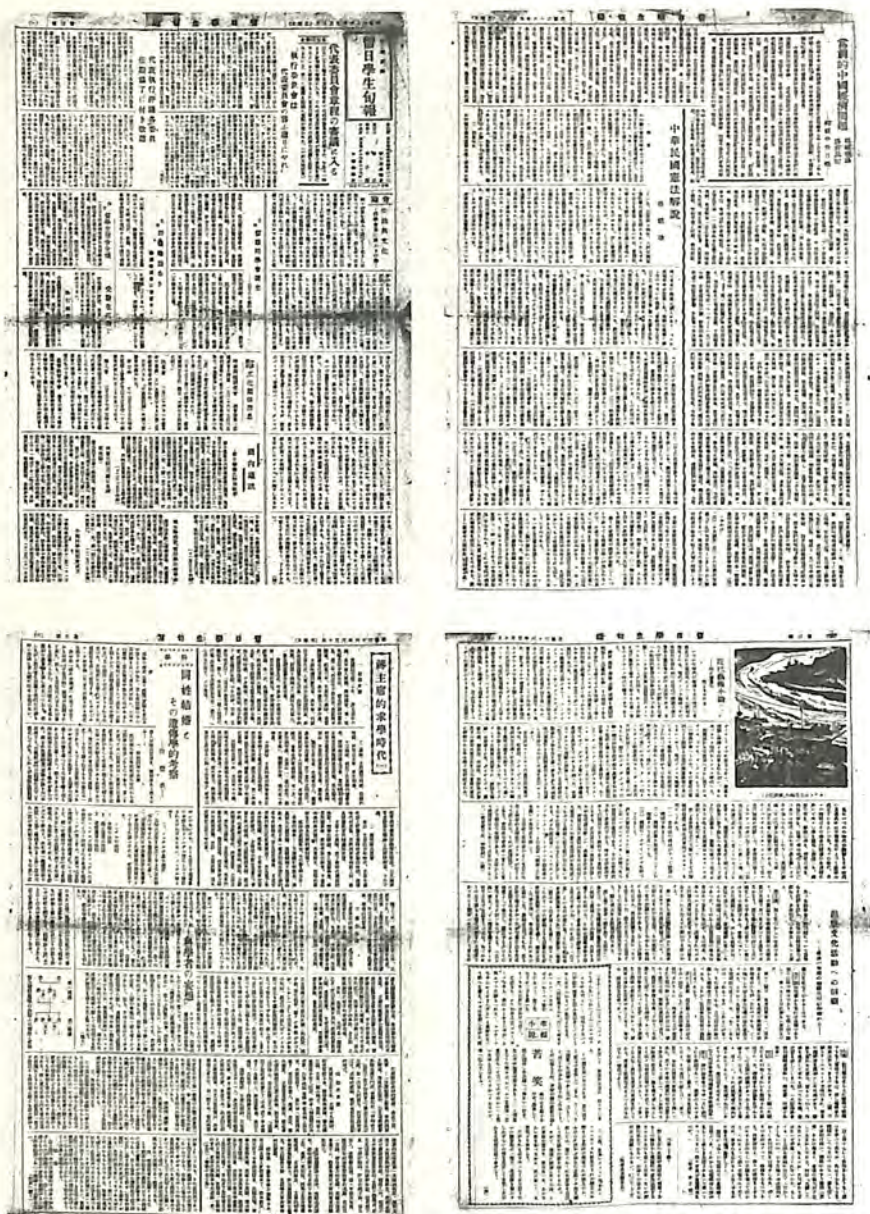


図1 『学生報』第3号（1947年3月10日刊行、当時の新聞名『留日学生旬報』）の紙面

出典：プランゲ文庫に所蔵している『留日学生旬報』1947年3月10日（第3号）1～4頁。

紙面を作る必要があった。『学生報』の一九四七年当時の発行部数は三千部と言われており、同学総会の会員である中国人留日学生への配布、関連団体や中華民国駐日代表団（以下、駐日代表団）向けの寄贈、検閲用としての連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）への送付に加え、ごくわずかではあったが一般向けにも販売されていたからである。こうした配布状況を踏まえると、日本語のみで書かれた広告記事が掲載されることはあり得たであろう。しかし、主な読者が中国人留日学生であったにもかかわらず、日本語のみの広告記事が全期間を通じて大部分を占める傾向までは想定しにくい。

一方、広告記事は、新聞社など、媒体サイドの方針とは関係なく、広告主によってそのデザインや使用言語が基本的に決められる。その判断基準は、宣伝効果の高低に尽きる。したがって、広告主は日本語のみの広告記事を『学生報』に掲載した方が日本語の書かれていない広告記事よりも高い宣伝効果を得られる。このように判断したと言えよう。実際、筆者が入手できた『学生報』の全二八一本の広告記事のうち、中国語のみで書かれたものは二本に過ぎなかった。特に一九五六年までは、一九四八年七月一日に刊行された第二〇号一本（中国語雑誌『華光』の二巻九・一〇期合併号の目次を掲載した宣伝広告）と一九五三年三月五日に刊行された第六七号一本（中国語雑誌『僑声月刊』の宣伝広告）の計二本にとどまっている（四五二頁からの表2参照）。

中国語のみの広告記事が極めて少なかった理由として、以下の二点が挙げられる。第一に、『学生報』の主な読者であった同学総会の会員が必ずしも全員中国語に堪能ではなかったことである。同学総会は元々、日本全国各地の中国大陸出身の留学生団体と台湾出身の留学生団体が合併して成立された。こうした経緯から、会員も、大陸出身者ばかりではなかった。やがて、大陸や台湾から来日する学生が減少し、帰国する者も現れる一方、華僑の子弟で大学に進学した学生が同学総会の会員として加わるようになった。特に一九五三年以降、大陸出身の留日学生の大多数及び一部の台湾出身の留日学生が中国大陸に続々と帰国した結果、同学総会の会員は、日本生まれの華僑の



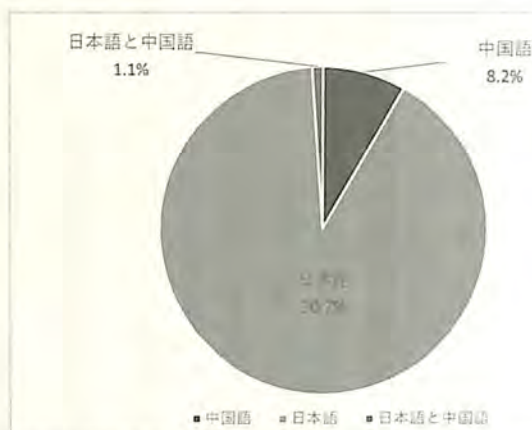


図2 『中国留日学生報』に掲載した広告記事での使用言語比率  
 出典：『中国留日学生報』の1947年3月1日刊行の第3号から1957年7月1日刊行の第116号（中には欠号や一部の紙面しかない号もある）の全281件の広告記事に基づき、筆者が整理し、作成した。以下、出典のないものは同様。

子弟及び台湾出身の学生が大半を占めるに至った。大陸出身の中国人留日学生と比べた場合、台湾出身の学生や華僑の子弟は、日本語が堪能な半面、中国語、特に北京語は十分に話せず、読み書きも苦手とする人が多かった。こうした状況を踏まえ、『学生報』は重要なお知らせや学生たちの活動紹介といった記事の多くを日本語で書いたのである。中国語記事あるいは国語版の記事は、中国の新聞や雑誌の記事転載、そして、中国の作家や研究者たちの文章、詩などの紹介が多い。

第二に、学生以外の読者の言語環境を十分考慮したことがある。配布先をさらに細かく見ると、『学生報』は在日華僑の団体、日本国内の中国研究や日中貿易に関連する団体にも配布された。在日華僑及び中国に関心を持つ日本人にも販売されていた。これらの団体・個人は中国語だけでなく、日本語とも接しており、日本語の方が慣れ親しんでいる場合も少なくなかった。中国人留日学生は日本の大学に在籍できる水準の日本語読解力があると考えられるため、日本語のみの広告記事を出しても、メッセージは伝わる。これらを検討し、日本語が『学生報』読者の共通言語と判断したからこそ、広告主は中国語のみで書かれた広告記事を同紙にほとんど出さ

なかつたのであろう。

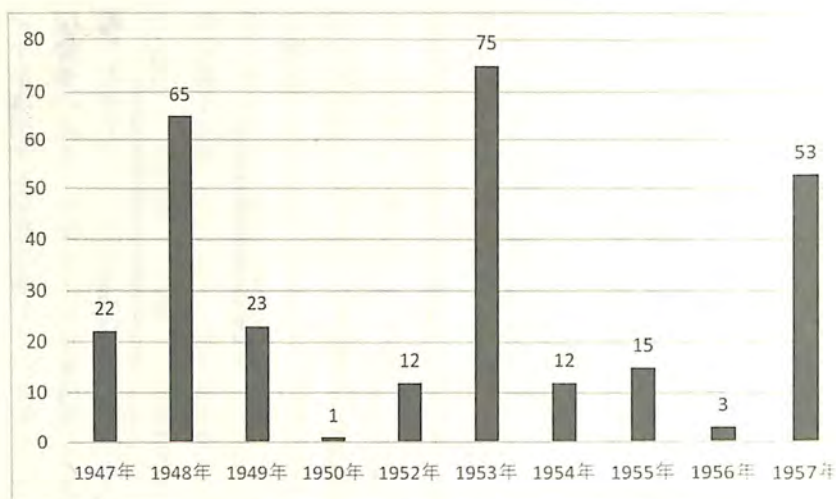
全般的な趨勢とは若干異なるが、筆者は『学生報』が停刊する直前の一九五七年四月以降同紙に掲載された中国語のみの広告記事にも注目している。

同年四月一日に刊行した第一一三号に四本、五月一日に刊行した第一一四号に六本、六月一日に刊行した第一一五号に八本、七月一日に刊行した第一一六号に三本と、一三本の広告記事のうち二一本（九一・三%）が停刊直前の三月月間に集中した。背景には、中華人民共和国政府（以下、人民政府）が同学總會を通じて在日中国人留日学生（華僑学生、台湾出身学生を含む）へ定期的に支給していた救済金の送金停止がある（送金停止については、後述）。この措置により、同学總會は資金難に陥り、同年における広告記事の急増につながった（図3参照）と見られる。

もっとも、この時期の同学總會の会員のおお半は華僑家庭の出身で、日本で育った中国人学生であり、中国語より日本語の方が堪能であった。さらに、一九五七年の全広告記事五三本を確認すると、日本語のみ、日本語と中国語の併記がなお六〇%以上を占め、読者層が変化したので、中国語のみの広告記事が増えたとは考えにくい。

むしろ、広告主が読者以外への宣伝効果も重視するようになったためと考えられる。二一本の中国語のみで書かれた広告記事のうち、一〇本は『僑務報』、『大地報』、『中国年鑑』など、日本で販売された中国関連の刊行物の宣伝、残りのうち一〇本が日中貿易に従事する会社や業界団体（亜東国際興業公司、長江商事株式会社、新光貿易会社、東京華僑貿易公会、中日貿易会など）の宣伝広告、一本は東京華僑總會が行う予定の中国語講習会の新規募集広告であった（表2参照）。一九五二年の第一次日中民間貿易協定の締結を機に、日中両国間の貿易が徐々に増加するとともに、中国残留日本人の帰国交渉を行う目的で、中国の紅十字会の訪問団（団長・李徳全、副団長・廖承志）の訪日が一九五四年に実現するなど、日中関係は徐々に改善しつつあった。

しかし中国政府は、一部の親中の貿易会社、商社、業界団体に限り対中貿易を認めるなど、日本側のパート



発行年	広告記事数	割合
1947年	22	7.8%
1948年	65	23.1%
1949年	23	8.2%
1950年	1	0.4%
1952年	12	4.3%
1953年	75	26.7%
1954年	12	4.3%
1955年	15	5.3%
1956年	3	1.1%
1957年	53	18.9%
総合計	281	

図3 『中国留日学生報』に掲載した広告記事の掲載年別の記事数と割合



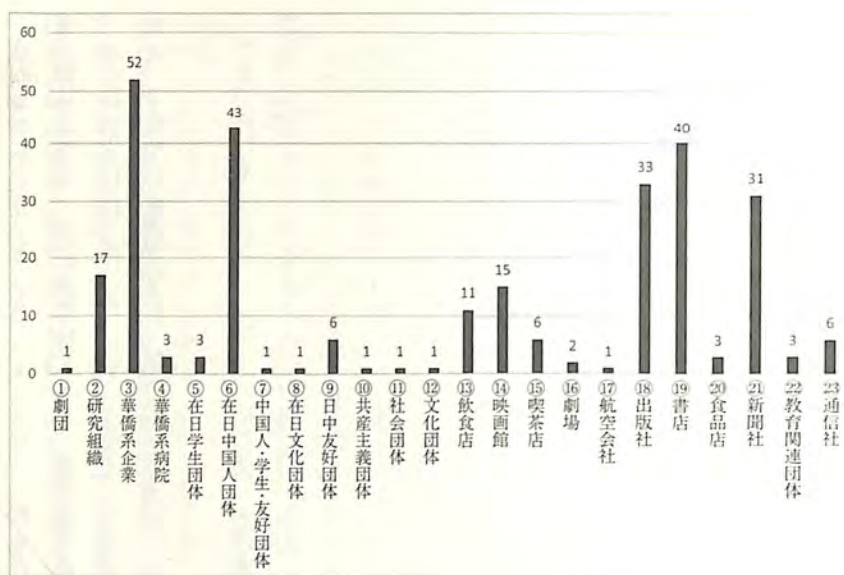
ナーを選別する姿勢は崩していなかった。こうした事情から、日中貿易に従事する企業、日中関係の改善による中国需要の高まりを期待する企業団体などは、中国との親密さをアピールするため、『学生報』に中国語での広告掲載を希望するようになったと考えられる。広告主のこうした意向は収入源の確保が急務となった同学總會側の事情と合致し、中国語のみで書かれた広告記事が一九五七年四月以降増えたのであろう。この現象はこれらの中国語広告記事を掲載した広告主、特に日中貿易に従事する会社や業界団体は、『学生報』での広告記事掲載は広告の「製品やサービスの販売に利用される」という効果を期待したのではなく、ステークホルダー（人民政府）との関係性を構築するというパブリック・リレーションズを目的としているからだと考えられる。このような目的での広告記事の掲載は、これまで日本における中国人団体や中国関連団体の機関紙（誌）に関する研究では注目されてこなかった。本稿では『学生報』の事例を通じて分かった現象であるが、ほかの機関紙（誌）においても同様の目的とした広告記事の掲載有無について、今後も継続して考察していきたい。

## 二、『学生報』の広告主

図4は、『学生報』に掲載された広告記事の広告主を業種及び組織の性質別に分類したものである。後述するように、『学生報』は同学總會の財務状況が悪化した際や同紙の刊行資金を捻出しくくなったときに広告記事の掲載を増やした。したがって、広告主を見れば、同学總會が一九四七年から一九五七年までに日本社会においてどのようなネットワークを構築してきたかが明らかとなる。

こうした視点で広告記事を確認したところ、『学生報』の主な広告主の業種とその主な広告主名は以下の通りである。





広告主の業種	広告記事数	割合
① 劇団	1	0.4%
② 研究組織	17	6.0%
③ 在日華僑系企業	52	18.5%
④ 在日華僑系病院	3	1.1%
⑤ 在日学生団体	3	1.1%
⑥ 在日中国人団体	43	15.3%
⑦ 在日中国人団体、在日学生団体、日中友好団体	1	0.4%
⑧ 在日文化団体	1	0.4%
⑨ 日中友好団体	6	2.1%
⑩ 日本の共産主義団体	1	0.4%
⑪ 日本の社会団体	1	0.4%

⑫ 日本の文化団体	1	0.4%
⑬ 飲食店	11	3.9%
⑭ 映画館	15	5.3%
⑮ 喫茶店	6	2.1%
⑯ 劇場	2	0.7%
⑰ 航空会社	1	0.4%
⑱ 出版社	33	11.7%
⑲ 書店	40	14.2%
⑳ 食品店	3	1.1%
㉑ 新聞社	31	11.0%
㉒ 中国語教育関連団体	3	1.1%
㉓ 通信社	6	2.1%
総合計	281	

図4 『中国留日学生報』に掲載した広告記事の広告主の業種及び組織の性質別の記事数と割合

在日華僑系企業（五二本、一八・五％）：松永洋行、三元産業株式会社、大安文化貿易株式会社、大同合作社、重東国際興業公司、長江商事株式会社、新光貿易会社など

在日中国人団体（四三本、一五・三％）：中国留日華僑總會、中国留日同學總會、大阪華僑總會、留日華僑東京婦女會、中華留日東京同學會、華僑民主促進會、東京華僑聯合會、東京華僑總會、華僑文化會、東京華僑青年聯誼會など

書店（四〇本、一四・二％）：内山書店、岩波書店、山本書店、野村書店、八雲書店、伊藤書店、大安書房、九段書房、国際書店、極東書店、江南書院、中国書店、石崎書店など

出版社（三三本、一一・七％）：華光社、吉昌社、黄河社、国際出版社、永安出版社、中華学芸社、世界評論社、知識社、中央書籍株式会社、民主青年出版部、三一書房、彰考書院、ハト書房など

新聞社（三一本、一一・〇％）：国際新聞社、中華日報社、中華留日学生報社（中国留日学生報）、華僑民報、国際貿易導報、大地報など

上位の広告主のうち、書店の広告記事は中国関連の書籍・雑誌が大半を占め、出版社や新聞社が出した広告記事の多くも在日中国人団体、日中友好団体、中国に関する研究組織が出版した新聞、雑誌、書籍に関する紹介、販売情報であった。同学總會が真っ先に財務支援を求め、そしてその期待に応えたのが、在日華僑系企業をはじめとする学生にとって身近な在日華僑系企業・中国関連団体であったと指摘できる。

また、表2の書店や出版社、新聞社の広告記事の内容から分かるように、当時の日本の書店で販売されていた中国関連書籍、出版予定の中国関連雑誌（『華光』、『中国文学』、『桃源』、『黄河』、『映画雑誌』、『月刊雑誌淑女』など）、新聞（『中華日報』、『国際新聞』など）の内容紹介と目次、一部の新聞・雑誌の休廃刊のお知らせとその理由、そして書

店、出版社、新聞社の所在地、連絡先、担当者名、執筆者などの情報が掲載されたため、『学生報』の広告記事から当時の在日中国人団体、中国に関する研究組織（中国文学研究会、中国研究所、東京大学中国研究会、中国研究全国学生連合会など）の活動の一端をうかがい知ることができる。

そして、興味深いことに、『学生報』に広告記事を出した新聞社に朝日新聞が含まれていた。『学生報』が在日中国人にとどまらず、日本の大手新聞社にもその存在が知られていたことを示す証左と言えよう。広告記事の自身は、自社から出版した在华同胞帰国協力会等編の『新しい中国——帰国者の体験から』という本を宣伝するものであった。

また、広告主の事業所所在地の九割以上が東京であり、ほかは関東と関西の主要都市であった。表2に示した通り、飲食店（中華料理玉華、中華料理長永軒など）、喫茶店（喫茶碧空、テイ・ルーム菓子果実など）、劇場（ムーランルージュなど）、劇団（前進座）、映画館（地球座、日活名画座、人世座など）、病院（愛蘭歯科、安康医院など）に限れば、京都以外では神奈川県のものしかなかった。『学生報』の運営本体である同学総会の本部及び『学生報』の編集委員会、東京都千代田区西神田の日華学会のビルに置かれており、『学生報』への掲載広告を募集する際に近場の企業（国際文化振興公司、中日経済合作社、中国航空公司、吉昌社、中央書籍株式会社、中華学芸社（出版印刷所としての広告）など）や組織（在日華僑消費組合など）に重点を置いたためと推測される。大阪府や京都府、兵庫県など、関東以外の地域の広告主は、新聞社（中華国際新聞社など）、出版社（黄河社）、書店（中国書籍店中華文化センター）、在日中国人団体（大阪華僑総会、留日華僑貿易商公会、華僑文化経済協会など）、在日華僑系企業（松永洋行など）のいずれかであった。内容を調べると、在日華僑系企業は同学総会への財務的な支援、出版社などは『学生報』の読者層に向けた自社出版物の宣伝が広告記事の目的と言える。



### 三、中国留日同学總會の財務事情と財務悪化時の対処方法

一九四七年春に刊行し始めた当初、『学生報』は広告記事を全く載せていなかった。図1に示したように『学生報』は同学總會の機関紙として、日本全国の中国人留日学生のための配給、同学總會及びその支部である各地方の同学会、各地の留学生寮、各国の在日学生団体の活動情報、華僑や在日中国人団体の関連情報、中国や日本国内外の最新ニュース、文化芸術関連の作品等を掲載に徹するべきという編集方針によるものと見られる。

ところが、一九四七年八月一日刊行の第九号で広告記事を初めて掲載したのを機に、その後も筆者が入手した一九五七年七月一日刊行の第一一六号まで広告記事は断続的に掲載された。

この転換には、以下の二つの理由が考えられる。

一つ目の理由は、組織改革に伴い、『学生報』が財務面での自立を求められるようになったことである。一九四七年七月、『学生報』の掲載記事は東京の会員向けの情報に偏重しているという地方会員の批判を受け、同学總會内に「中華留日学生報編輯委員会」という新組織が作られた。この組織は同学總會文化部から『学生報』の編集機能を引き継ぐとともに、各地の同学会から記者を募集し、日本各地の同学会の活動情報や会員情報、そして各地の会員に関心を持つ地元情報の掲載を増やした。編集委員会の代表が横滑りするなど、実質的には変わらない面も多かったものの、形式的な独立と費用の増加により、『学生報』の発行経費を賄うには同学總會からの補助だけではなく、『学生報』の自助努力も不可欠になった。

二つ目の理由は、同学總會が自前の収入を増やす必要に迫られたことである。一九四七年春以降、同学總會は生活に困った中国人留日学生に独自の救済金を給付することで、組織の求心力を高めようとした。その理由について、

筆者は既刊論文で次のように指摘した。

一九四六年に中華民国政府（以下、国府）駐日代表団の指導で成立した同学總會は、戦勝国中華民国による中国人留日学生の全国統一団体という名誉が発足当初より付与された。さらに、同学總會に会員登録すれば、GHQからの特別配給を受けられる経済的なメリットもあり、日本各地の中国人留日学生のほとんどが会員登録し、同学總會の活動に積極的に参加した。しかし、一九四六年一〇月、日本政府が中国人留日学生に戦後支給した「貸金」と呼ばれた補助金を完全に停止すると、多くの中国人留日学生が困窮した。加えて、中国内戦の勃発によって国内政治に対する失望から、国府の指導の下で設立され、中華民国という国名を冠する「中華民国留日同学總會」と距離を置こうとする中国人留日学生が増えた。<sup>九</sup>そこで、同学總會は日本各地の華僑に寄付を呼びかけると同時に、『学生報』への広告記事掲載収入も中国人留日学生の給付金に充てようとしたと考えられる。

結果、図3に示したように、一九四七年に広告記事の掲載を開始した後、中国人留日学生の生活困窮状況が最も悪化し、そして同学總會と駐日代表団、日本政府、GHQとの交渉も難航した一九四八年に広告記事の掲載本数が急増し、前年比約三倍の六五本に上った。また、表1が示すように、一九四九年から一九五六年まで、日本の飲食店、食品店、喫茶店、文化団体、共産主義団体による『学生報』への広告の掲載は確認できなかった。見方を変えれば、一九四七年から一九四八年にかけて、留学生団体の機関紙にふさわしいかどうかよりも収入の確保を優先し、さまざまな職種・団体の広告記事を選び好みみせず載せたと言えよう。

一九四九年に入ると、掲載広告記事の数は大幅に減少した。筆者が収集できた一九四八年刊行の『学生報』は八部であったのに対し、一九四九年刊行の『学生報』は一二部と、掲載元である新聞の数は一九四九年の方が多し。にもかかわらず、広告記事数が減少したのは、『学生報』及び同学總會の運営方針が変化したためと考えられる。一九四八年から一九四九年夏にかけて、中国人留日学生への救済金をめぐる同学總會と駐日代表団の意見の相違は

表1 『中国留日学生報』に掲載した広告記事の掲載年別の広告主の業種別の記事本数

広告主の業種	1947年	1948年	1949年	1950年	1952年	1953年	1954年	1955年	1956年	1957年
飲食店	4	7								
映画館		2			1	12				
喫茶店	1	4								1
劇場	2									
劇団								1		
研究組織		2	1	1	1	5	1	1		5
航空会社			1							
在日華僑系企業	1	12	3		1	16	3	1		15
在日華僑系病院		1	1							1
在日学生団体		2	1							
在日中国人団体	3	7	4		1	9	2	7	2	8
在日中国人団体、在日学生団体、日中友好団体							1			
在日文化団体		1								
出版社	6	10	7		6	3	1			
書店	1	8	2		1	15	1		1	11
食品店	2	1								
新聞社	1	6	3			11	3	2		5
中国語学習関連団体						1		1		1
通信社	1					1		1		3
日中友好団体					1	1		1		3
日本の共産主義団体		1								
日本の社会団体						1				
日本の文化団体		1								
掲載年別広告記事数の合計	22	65	23	1	12	75	12	15	3	53

出典：『中国留日学生報』の1947年3月1日刊行の第3号から1957年7月1日刊行の第116号（中には欠号や一部の紙面しかない号もある）の全281件の広告記事に基づき、筆者が整理し、作成した。

大きくなっていった。加えて、駐日代表团による、中国人留日学生救済資金の私的流用事件が発覚した。この資金は、秘密裡に日本と貿易していた台湾の業者に上納させたものである。これに気付いた同学総会の幹部が、その詳細を『学生報』で明らかにした。これらの要因によって、駐日代表团との関係悪化は深刻なものとなった。

また、国府との関係悪化に伴い、同学総会は中華人民共和国寄りの姿勢を強める。一九四九年に中華人民共和国が成立した際、同学総会は即座にこれを支持し、『学生報』も建国祝賀の記事を掲載した。こうした方針転換に基づき、一九四九年に掲載した二三本の広告記事のうち、一五本は日本の研究団体や、在日中国人団体、在日華僑系企業、中国関連書籍を販売する書店による中華人民共和国成立及び中央人民政府樹立の祝賀広告記事であった（図5）。



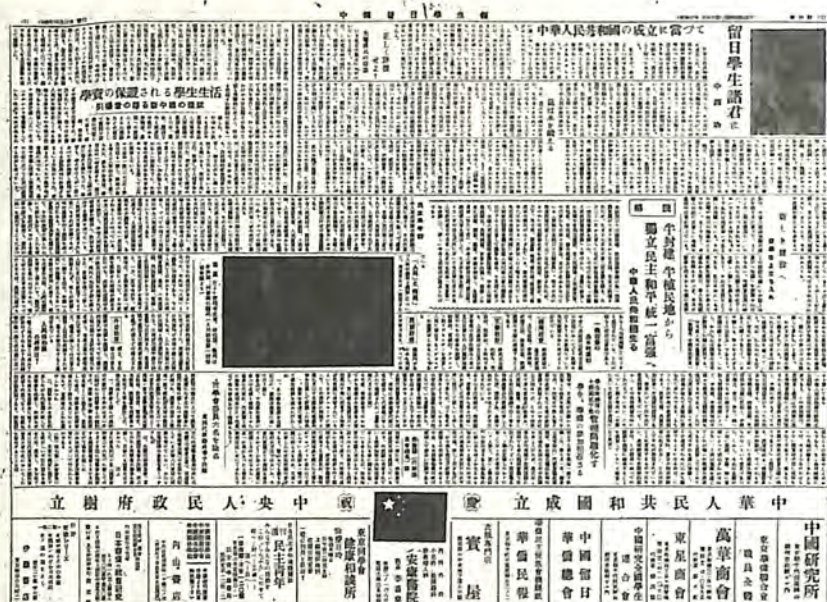


図5 『中国留日学生報』に掲載された中華人民共和国成立の祝賀広告記事の紙面  
 出典：プランケ文庫に所蔵している『中国留日学生報』1949年10月11日（第36号）2～3頁。

一方で、同学総会は、中国人留日学生への救済金給付を続けるため、広告以外の収入獲得に注力し、そうした取り組みが一定の成果を出した。例えば、同学総会は奨学会を組織し、在日華僑に募金を呼びかけた。東京の後楽寮（中国人留日学生の寮）でも、独自の苦学会を組織して募金活動を展開した。両組織の動きは一本化され、一九四九年秋には同学総会独自の奨学会のみで救済金を給付できるようになった。これも同学総会はなりふり構わず広告記事を集める必要性が後退し、喫茶店などからの広告記事を『学生報』に掲載しなくなった一因と見られる。

筆者が収集した一九五〇年の『学生報』には、中日文化研究所が出版した非売品の『中国木刻集』という本の宣伝広告記事一本しか掲載されず、翌一九五一年は広告記事が全くなかったのは、広告以外の収入確保によるものと見られる。これは国府の駐日代表団が、中国人留日学生が中華人民共和国を支持する趨勢を変える目的で、生活に困

窮した学生に補助金を直接給付するようになったことと関係している。同学總會の幹部も含む多くの日本全国の中国人留日学生がその補助金を受け取りながら、人民政府支持の姿勢を変えず、同学總會の運営や受領できなかった中国人留日学生の救済に充てたことで、その後、日本政府や駐日代表団から圧力をかけられ、活動停止まで要求される厳しい状況を同学總會がなんとか乗り越えた皮肉の結果につながった。

補助金の給付が事態の好転につながらなかったことを受け、一九五一年四月から、駐日代表団は補助金を受け取る際に、団長と留學生管理を担当する第二組組長の訓辞を聞くよう求めた。さらに受給者に対して、同学總會に反対する態度の表明を補助金支給の要件とし、さらには、国府への忠誠宣誓書への署名まで要求するようになる。ところが、駐日代表団による一連の要求が補助金を受け取る中国人留日学生の激減という逆効果をもたらしたことで国府は補助金の全面見直しに舵を切った。一九五二年に「日華平和条約」が締結され、駐日代表団に代わって中華民国大使館が中国人留日学生を管理する業務を担当するようになったのを機に、同年四月には卒業生への支給を停止、そして同年九月には留日学生向けの補助金の支給を全て停止したのである。

国府による補助金支給の全面停止に伴い、『学生報』に掲載する広告記事の数は再び増え始める。一九五二年二月一日刊行の『学生報』には五本の広告記事が掲載された。うち四本は出版社による刊行物の宣伝であったが、筆者は新宿地球座という、在日華僑の資本家林以文が経営する映画館の上演作品に関する広告記事の方に注目した。林は一九四九年同学總會の呼びかけに応じて同学總會の奨学会に五〇万円も寄付するなど、同学總會の活動を積極的に支援した在日華僑であり、『学生報』にも多くの広告を掲載し、同学總會と良好な関係を築いた。しかし、新宿地球座の広告は一九五三年三月五日刊行の第六七号を最後に掲載されなくなった。同号では林以文が経営する東京新宿劇場において、同年三月一日に蔣（介石）復帰三周年記念会が開催され、台北で行われた会議で決議されたことに同意し反共署名を画策したことだけではなく、林の提案によって蔣へ電文が送られたことを紹介し、林の国



府支持、反共の姿勢を批判したという内容の記事を掲載した。この号での地球座の広告掲載は事前に決定され、広告料を受領していたためであろう。しかし、三月一日の林による署名活動及び在日華僑・中華学校の学生へ強要した反共署名によって、林の反共姿勢が明確になったため、その後林以文が経営する企業の広告を掲載しなくなると考えられる。

国府による補助金支給停止、国府及び日本政府の圧力強化に起因する同学総会の財務問題は一九五三年まで続いた。同年の『学生報』に掲載した広告記事数は七五本と、『学生報』の刊行期間で最多となったのは、財務の厳しい状況に対応するためと言えよう。ただし、表2に示した通り、一九四八年までとは異なり、地球座を含む映画館や在日華僑系企業、中国関連刊行物を販売する書店、在日華僑が経営する新聞社からの広告に依存する一方、飲食店や喫茶店、食品店などの宣伝広告は皆無に等しかった。『学生報』の編集者が主に、在日中国人団体（日本華僑経済合作社）や在日華僑系企業（松永洋行）、中国の書籍を販売する書店（大安書房、九段書房、国際書店、ナウカKK洋書部）、華僑系新聞社・通信社（国際新聞社、亜細亜通信社）、中国関連研究団体（中国文学芸術研究会）、映画館（地球座、日活名画座、人世座）といった大口の支援者に援助を求めた状況がうかがえる。しかも、これらの広告主は一回限りではなく、数号にわたって広告を連続して出す形で同学総会を財務的に支援した。

同学総会の財務事情が一九五二年秋から一九五三年にかけて徐々に改善した要因として、人民政府華僑事務委員会が同学総会の要望を受け、中国人留日学生のための救済金を一九五二年九月以降送金し始めたことも挙げられる。当初、国府や日本政府の妨害で、送金が手元に届くまで時間がかかることが多かったものの、一九五三年春頃から届くまでの時間が短縮し、安定的に送金できるようになった。これを受け、同学総会の奨学会は、人民政府から送付された新たな救済金を適切に配るとともに、同学総会の求心力も高める目的で、救済金の管理委員会及び審査委員会を設立した。その後、会費滞納者の増加を受け、同学総会は奨学会を廃止し、会員である中国人留日学生



(卒業生、華僑学生を含む)への救済金の配布を直接行うようになった。さらに、救済金からの会費の天引きに加え、同学総会の運営資金も人民政府から送金された救済金で賄うようになったため、広告収入に依存して厳しい財務状況の解消を図る必要はなくなった。

こうして財務事情は改善したものの、同学総会は新たな課題に直面する。一九五三年から一九五六年にかけて人民政府が行った帰国キャンペーンにに応じて、中国人留日学生のもとどが中国大陆に帰国したため、同学総会は華僑学生が会員の多数を占めるようになり、中国大陆や台湾から来日した留日学生のための組織という設立当初の理念との乖離は日増しに拡大した。活動実態の面でも、救済金の配布機能しか評価されず、同学総会の組織的な求心力は次第に低下した。さらに、同学総会が人民政府華僑事務委員会から救済金を受け取っていたため、その機関紙である『学生報』は人民政府の最新政策及び中国の情報報道する宣伝媒体へと変質した。同学総会自体も、華僑事務委員会や同委員会副主任の廖承志の指示で、人民政府訪日団の通訳や警護といった対中協力の業務を行うようになった。

こうした状況下で掲載した広告記事の多くは、同学総会を含めた在日中国人団体の活動に関する宣伝であった。特に、一九五六年に掲載を確認できた三本の広告記事のうち二本は同学総会の事務員募集と原稿募集の記事であり、内山書店・極東書店・大安書店による中国語会話の教科書に関する広告記事しか、本当の意味での広告記事とは言えなくなったのである。

そして、一九五七年になると、掲載広告記事の数は再び急増した。筆者が収集できた一九五七年の五部の『学生報』には、広告記事が全部で五三本掲載された。広告主別では、在日華僑系企業が一五本で最も多かった。広告記事数で見ると、一九五三年、一九四八年に次ぐ水準であり、同学総会及び同組織の機関紙『学生報』は三度目の財務危機に陥ったと言える。その主因として、中国からの送金停止が挙げられる。人民政府は第二次五カ年計画の始

動に向けて全国的な節約運動を展開し、その一環として一九五七年五月、同学総会に送付する中国人留日学生への救済金の大幅な規模縮小を決定、その後送金は全面停止された。これに伴い、救済金から会費を天引きすることができなくなった。一九五三年から一九五六年までの帰国キャンペーンで多くの留日学生が帰国し、会員数の大幅な減少で会費収入自体が落ち込んでいたこともあって、同学総会は『学生報』に掲載する広告記事の数を増やして三度目の財務危機も乗り切ろうとしたと考えられる。この三度目の財務危機は、予想に反して解決のめどが立たず、二度目の財務危機のときとは異なり、広告主を選び好みする余裕はなかった。そのため、「林音響研究所」という華僑系企業の音響設備の修理と販売の広告、「産婦人科アヅマ医院」、「学生の店 名曲と珈琲 らんぶる」などの病院、喫茶店の広告を掲載するなど、一度目の財務危機のときと類似した対応をとった。

『学生報』の正式な停刊時期が現段階ではまだ解明できていないが、筆者を含めて複数の研究者による史料調査では、現在確認できる最終号は図6の一九五七年七月一日刊行の第一一六号である。

『学生報』の停刊については、大里浩秋と筆者による複数の関係者へのインタビュー調査から、人民政府の救済金給付の停止と『学生報』主要編集者である陳立清氏が旅日華僑青年聯誼会機関誌『東風』の編集を担当するようになり、同学総会の活動にあまり関わらなくなったことが主な理由であったとあげられた。結果として、同学総会は人民政府の国務院華僑事務委員会の直接指導を受けるようになり、人民政府の資金援助がなくなり、一時在日華僑系企業や、中国関連団体、書店の広告掲載で『学生報』の刊行を継続しても求心力が持続できず、組織として一九六〇年代まで存続していたが、『学生報』を通じた同会の活動紹介や、人民政府の政策宣伝が継続できなくなると言えよう。また人民政府は同時期に東京華僑総会の機関紙である『華僑報』や人民政府の支援を受けて刊行した『大地報』、そして、中国国内で刊行した対外宣伝用の定期刊行物（『僑務報』、『人民中国』など）を日本の書店を通じて販売するようになった。同学総会の会員数が減少して、文科系の華僑子弟がその大半を占めるようになった





図6 『学生報』第116号(1957年7月1日刊行の紙面)  
 出典：神戸華僑博物館に所蔵している『中国留日学生報』1957年7月1日(第116号)1～4頁。



ことも重なり、『学生報』を通じて宣伝する必要性は大幅に減退した。同学総会が人民政府からの資金援助を打ち切られたのは、こうした要因があるものと考えられる。

この点について、一九五七年に五月一日に刊行した『学生報』には、「執行委員会は大会の執行部一般報告に於いて、帰国促進運動を展開するに当たり犯した誤りを次のように自己批判している。『私達は人民政治協商会議以後、祖国のアップールに応えて大幅に帰国促進運動を展開してきたが、その成果は上がらぬのみならず祖国からのアップールの真意を取り違ひ文、理科系を問わず卒業したら即時帰国せよと呼びかけを行ってきたが、これは誤りであった。社会主義国家建設の基盤となる重工業の発達を考えるにつけ、また文科系出身者の帰国後の工作〔仕事〕状況を見るにつけても我々が卒業したら帰国せよと呼びかけてきたことに反省しなければならぬ。人と接触することが仕事である文科系の学生が国語を話せないことは工作〔仕事〕に支障をきたすし又思想意識が低く、学習と並行して実践することの必要を我々自身強く意識しなかつたがゆえに、それを徹底させることもしなかつた：〔以下略〕』という反省文を掲載し、さらに同記事に「先月の十八日から三十日までの間に祖国から三通の電報が参りました。その電報の主旨は皆、理工科系以外の帰国希望者は出来る限りしばらく帰国を待つてもらいたいという意向をもらしているものである」と書いた。<sup>(三三)</sup>この一三日の間、三通も同学総会に届けられた祖国からの電報に現れた人民政府の真意は中国人留學生全員の帰国を歓迎するのではなく、重工業に貢献できる理科系の学生のみ歓迎され、一般学生はむしろ日本に留まつてほしいということであった。このような祖国の姿勢も同学総会の求心力が低下した原因となり、最終的に広告記事の募集によって、『学生報』の刊行継続を模索した同学総会も、編集担当者の移籍によってその後の刊行が厳しくなつたのであろう。

表2 『中国留日学生報』に掲載した広告記事の内容と掲載新聞の年月日及び号数（■は判読不能字）

一九四七・八・一五 第九号

「華光」日本における華文雑誌、堂々たる  
 ■華版既に発刊十期内容愈々充実是非御覧  
 をB5型一冊六頁 表紙四色 定価拾五円  
 「中国文學」燦爛たる歴史を有する「中国  
 文學」は終に本社から發刊近日中創刊100  
 号記念■を付載、是非御一読を乞ふ！  
 「中国之命運」廿世紀の不朽名著 蔣委員  
 長の大作は日本における最初の原文版目下  
 發売中【定価貳拾圓】送料一圓二十銭  
 「雜誌・會報・単行本・ピラ・名刺等印刷  
 物を引受、正確迅速用紙豊富 華光社印刷  
 局」  
 日本東京都文京區小石川一ノ一  
 華光社  
 電話小石川（番）二二六〇番  
 振替口座東京一九五一七〇番  
 月刊綜合雜誌 桃源  
 老境について……武者小路実篤  
 中国現代文學の四周……岡本隆吉  
 中国文化をめぐって（座談）……石田幹之  
 助・奥野信太郎  
 人間の発見……三岸節子  
 春（詩）……韓吉昌  
 短編集 再建：川俣晃目 口紅：中蘭英助  
 桃：鈴木實 追憶：小田獄夫  
 吉昌社 東京都新宿区牛込區辨天町九十一

番地

月刊文芸雜誌 黃河  
 創刊第二号

日本新憲法の輪廓……關嵐  
 談々詩和散文……端木蕨光  
 別離……學文

思郷曲……海

閨怨……小鵬

銀座之戀……阿Q  
 地獄通信……蘇柏

英詩選譯

◎価20圓（日金）◎契約半年一百十圓・全  
 年二百二十圓

黃河社 大阪市南區北灘三丁目

僑聲 大阪華僑總會直屬刊物

中・日文対譯の旬刊雜誌

重要訓令、命令、通告時事  
 趣味話題、各組消息等

一部 価10圓

大阪市南區鰻谷仲之町四九  
 大阪華僑總會文化部

一九四七・九・一五 第二一号

遂に復刊

中國文學

昭和文學界問題ノ雜誌復刊見ヨ我方編集陣  
 増田涉小野忍竹内好岡崎俊夫武田泰淳千田

九一齋藤秋男實藤惠秀九月復刊注文者文配

（■は判読不能字）

本通年百八〇圓半年九〇郵料共

華語勉強者ノ良友引揚者ノ懐シイ文

華光 月刊來日中国文學豪范琦・呂興行先生  
 主宰通年二四〇圓半年百廿圓郵共

創立二週年行■紀念讀者募集先着順各二千  
 名定價の二割引應注

振替東京一九五一七〇

東京都文京區小石川町一ノ一華光社

◇映畫雜誌◇（月二回發行）  
 ニユーフェイス

□創刊第一號目次□

◇表紙（原色版七度刷）

△高峯秀子△クローデット・コルベール

◇口繪（クラビヤ八頁）

△肖像 折原啓子、高峯三枝子、ジュ  
 デイ・ガーランド

△場面リラの花忘れじ。ほんぼん。素浪人  
 罷通る。心月の如く。ジェーン・エア・青  
 空に踊る。脱出。響渡る眼。コルシカの兄

弟

△特集 映畫小説

◇リラの花忘れじ ◇素浪人罷通る ◇ほ  
 んぼん

△特別讀みもの

◇新馬鹿時代談議 山本嘉次郎◇ロツパ自

■傳 古川ロツパ

◇東横映畫たん生 小林いさむ  
 ◇スター引拔合戦 京町 健太



△時事問題解説

◇赤字予算の経済白書 ◇おのの映畫と社會問題、その他

△表紙 女優人氣投票懸賞当選發表

△讀者クラブ 新懸賞募集

△各社新作映畫特別紹介

◇愛よ、星と共に ◇新馬鹿時代

◇安城家の舞踏會 ◇淑女とサーカス ◇若き日の血は燃えて ◇東京の夜 ◇悪魔の乾杯

◇ののの小

愈々發賣!

定価一部金十八圓(送料五十錢) 豫約御購

読料金

○二か月分金七十四圓(送料共)

○三か月分金百十圓(同)

○六か月分金二百十六圓(同)

○豫約購読者に限り、定価値あげの場合にも差金は一切申受けません

○お拂込みにはなるべく小振替あるひは振替貯金御利用下さい。

申込所・東京都文京區小石川町一の一八

中華國際畫報社改稱國際出版社

振替東京一九六五〇八番

一九四七・一〇・一五 第二二号

中國圖書雜誌

中國語關係書

中國關係圖書

中國關係雜誌

同學總會へ来られたら、是非一度お立寄り

下さい。

内山書店

千代田區西神田一ツ橋二ノ三

(神保町下車救世軍本部横道)

Moulin Rouge

新喜劇 中江良夫作・演出

生活の河 四景

ムーランルージュ

谷阿佐緒構成

山本信久演出

ロマンチックシヨウ

ブンタムール一部

スワニー哀詩二部

新宿の恋人 10日11日ヨリ

祝双十節

東京都新宿區角筈一ノ一

(ムーラン・ルージュ前)

在日華僑消費組合

配給通知

一、品名 綿入シャツ

一、数量男女の區別なく一人一枚

一、価格正 ■上級品 一枚に付き壹百圓

中級品 一枚に付き六拾圓

一、配給期間 自十月八日至十月三十日

一、携帶書類印鑑、當組合發行配給通帳

和洋菓子

大進

電話中野(38) 4117 4118

營業所 中野驛北口 新宿驛西口 池袋驛

西口 荻窪驛北口

中日兩國實業人必携近刊お知らせ!

部数少キ為、書店買リシマセン、直接御申

込ミ下サイ

東京華僑連合會 商工組長 頼貴富 社田

法人中國研究所 貿易委員會 鹽脇幸四郎

共譯編

A五版(七寸×五寸)

百五十頁前後

厚表紙・裝潢美

中日兩文 中華民國新公司法 附貿易、為

替新法令 解説ゾキ

中日貿易再開にともなひ、中國華僑業者、

日本貿易業者各位の御健勝御發展を祝しま

す。實業界各位の御發展の一助ともなり、

ひいては中日兩國の國民外交―中日提携の

一助ともなれば幸ひと存じ、是非とも必要

となる實業界の憲法―○中華民國新公司法

(中日兩文) ○輸出入貿易辦法(二十二年

八月十七日改正公布) ○外國為替辦法(同

十八日改正公布) ○赴日商務代表團組織要

綱、同實施辦法○その他「公司法用語便

覽」等を一括單行本として印刷製本中です。

講和條約、通商條約を目前に控え、益々必

要になると思ひますので至急御購買、御研

究の程切望してやみません。

□代金は郵便為替にて實費 百圓(郵送料

その他當方負担) □發行十月十日

御申込は次の三ヶ所の中何れ宛に送金され

ても責任を以て送本いたします



發行所東京都杉並區高圓寺三丁目二三五番地

永安出版社

代表者張鴻儒 賴貴富

東京都中野區新井町四八一番地 鹽脇幸四郎

中國通訊 週三回發行創刊一周年

◆ニュース 中國側有力通信社提供の電報及び放送

◆資料 中國各地發行の新報、雜誌等に掲載された重要記事及び論説の翻訳紹介

◆解説 中國の政治、經濟、社會、文化等諸般の時事に關する解説

◆貿易特集 中日貿易に關する内外ニュース及び解説

購読料年一、五〇〇圓(送料共封可)

東京都千代田區西神田二ノ二

中國通訊社 電話九段(83)一七八八番

振替東京一九九五五八一番

一九四七・一二・一五、三〇合併号第一五号

祝賀新春 歲暮御禮

華僑經濟振興會

東京都澁谷區榮通一ノ二

電話(55)一、一五九

會長林進輝

歐洲映画封切館 地球座 愈々開館

新宿興行街隨一の兒童文化會館(都バス車庫横新興街)

23日開場

國際文化振興公司 林以文氏經營

「國際新聞華文版」は諸事情により九月一日から休刊し愛読者諸先生位の御期待に添ひ得なかつたことを深くおわび申し上げます。明春一月一日から旬刊として發行する事になり、その名も「華文國際」と改め、内容も刷新し、B五版十六頁(毎回)として發刊致します。

「華文國際」愈々發刊

毎月一日、十一日、二十一日(三回)發行

創刊号(新年特大號)二十四頁

内容、評論、時事解説、華語講座、中日通訊、文藝、其他興味あるトピック記事、購読料、留學生定額の二割引

定価一ヶ月四十五圓、三ヶ月一二〇圓、六ヶ月二二〇圓、一ヶ年四二〇圓

發賣所 中華國際新聞社販賣部

大阪市西區戸二通一ノ五三

生活の河、の中江良夫が又々放ツ問題の力作!!

性病院 一幕三場 百万円大当り 16日初

日バラエティー踊り子の手より 30%皆様

へプレゼント

ORV集团提供作品

歳末東京娯失譜

としのくれちまたのゴシップ!!

ムーランルージュ

御食膳に、おみやげに

食料品一般、良質低廉

澁谷 瑞豊 吳清棟

澁谷名物 江戸前料理、天ぷら

天藤

大衆向、ワンタンソバ

中華料理

玉華

東京都澁谷區榮通一ノ六

黄業乾

サービス第一

中華料理 長永軒

東京都澁谷區榮通一ノ一〇

陸長根

御歳暮に、プレゼントに

弊店特製の和洋菓子

喫茶 碧空

帝國銀行澁谷支店隣

東京都澁谷區榮通一ノ一二

電話澁谷(55)一一五九

代表者 大壹 蘇通共

御會合に御茶會に是非御利用下さい

中華料理 和洋菓子 喫茶 瑞香

東京都澁谷區二町一ノ六

吳清榮

一九四八・一・一五、三〇合併号第一六号

祝創刊一周年

國際文化振興公司

ムーランルージュ 歐洲映畫封切館

董事長 林以文

桃源(第二卷第一號)

創作

雪童……北畠八穂

阿呆の世渡り……石川道雄

匈奴……川俣晃白

隨筆

石……増田渉

小車の油について……内山完造

情唐風俗志(冬の巻)……守屋美都雄

歌

冬湖……鈴木實

研究

寫本に見られる二つの性格……池田龜鑑

東京都文京區小石川町一ノ一

吉昌社

創刊二週年を期して

紙面の大刷新斷行

新聞活字使用(輪轉印刷)

東京唯一の中国系日刊紙

中華日報社

東京都新宿區新宿二丁目七九番地

國際情勢の正確迅速報道

公正なる評論・中国文化紹介

關西唯一の中國系日刊紙

國際新聞社

大阪市西區戸堀下通一ノ五三

本年一月創刊好評中の「華文國際」第二號

愈々發刊

毎月一日、十一日、二十一日(三回)發行  
内容は評論、時事解説、華語講座、中日通

訊、文藝、興味あるトピック記事

購読料、留學生定額二割引

定額、一ヶ月四十五圓・三ヶ月一二〇圓、

六ヶ月二〇〇圓、一ケ年四二〇圓

申込、中華國際新聞社購読部宛

中國文學(日本語版)

編輯陣 増田渉、小野忍、竹内好、岡崎俊

夫、武田泰淳、千田九一、齋藤秋男、實藤

恵秀

華光(華文版)

東京都文京區小石川町一ノ一

振替東京一九五一七〇

華光社

御會合に御茶會に是非御利用下さい

中華料理 和洋菓子 喫茶 瑞香

東京都澁谷區榮町一ノ六

吳清榮

中國圖書雜誌 中國語關係書 中國關係圖

書 中國關係雜誌

同學總會へ来られたら、是非一度お立寄り

下さい。

内山書店

千代田區西神田一ツ橋十一ノ三(神保町下

車救世軍本部横道)

良心的味の店

洋菓子 喫茶

白樺

阿佐ヶ谷駅前

西園公司 西園喫茶

高園寺駅前

代表者蔡欽山

杉並區阿佐ヶ谷一ノ七九四第二〇〇校街

留日華僑唯一工業

医薬品製造専門

中國藥品工業公司

代表者林以文

杉並區高円寺二ノ四二〇

電話中野(38)3800

月刊雜誌 淑女

民主的國際女性雜誌 創刊號十二月廿五日

■来

B5判 四十頁二五圓

東京都文京區小石川町一ノ一

中華學藝社

電話小石川(38)一四九五 一六四二番

當社印刷局整備印刷物受引

技術優秀、迅速、丁寧が特點

パン菓子類加工

學生特別サービス

金星公司

東京都千代田區神保町二ノ四(神田本屋街)

御馴染の元 上海北京天津

愛齒齒科

新橋驛前(蔵前ビル二階)

電話銀座四九七〇

洋品雜貨専門 古衣類買入 冬物豊富

學生特別サービス

翠華洋行

池袋驛西口バス通り

劉水通

救済祖國孤兒募捐電影大會

主催 中華民國留日華僑東京婦女會  
後援 中華留日學生報社

電影題名 兩地相思

他に 輕音樂あり (主演 陳燕飛燕・劉瓊)

期日 二月十日午後一時時間 嚴守入場料百

■團

地點 中國駐日代表團大禮堂

中國語家庭教師を世話す

中國語 (北京語) を習得したき者で、自家にて勉強したき者で、家庭教師を必要とするものは、左記へ申込あれば、御推薦致します。教師は中國留學生です

東京都千代田區西神田二ノ二

中華留日學生報社宛

消費者各位の

中日經濟合作社

漁業部

東京都澁谷區大和田八番地

澁谷のナンバーワン

大眾向料理店

榮蘭

東京都澁谷區上通三ノ十二

絶対に楽しめる社交喫茶

えーらん

東京都澁谷區宇田川町七六

辦事處 東京都澁谷區上通三ノ十二

電話澁谷 (四六) 二六二六

責任者 電雲舜

御存じですか!

新しいし高尚だし

歐洲封切映畫館にふさわしいと學生間に専ら評判のやうですけれど

新宿都バス車庫横新興街

地球座

一九四八・五・四 第一八号

新宿地球座

株式會社

土地家屋賣買 小運送 商事部

華僑經濟合作社

本社 池袋二丁目一三七番地ノ一

電話大塚 (〇〇) 一二四八番

不動産部 池袋二丁目一四四番地

電話大塚 (〇〇) 一八四五番

取締役社長 洪仁榮

キャバレー トウランドット

中華料理 桃源亭

新宿文化劇場裏

上海

喫茶・中華料理

新宿ムーランルージュ前角第一の〇

洋品雜貨専門古衣類買入 學生特別サービ

ス

翠華洋行

本行池袋驛西口バス通り 分行池袋東口エ

デン劇場前

劉水通

洋服・洋装・洋品

杏林實業公司

中野驛北口中央通角

電話中野 (〇〇) 〇九〇番

料理 菓子 喫茶

新宿園

新宿驛東口 (高野果實店前)

洋品雜貨

中野驛北口華民市場内

台東區田島町一〇五國際デパート内

中華料理和洋菓子

明星

中野區打越町卅一 (中野驛北口)

明星公司

代表者 謝錦章

華洋貿易公司

中央區室町一ノ一

高田馬場營業所

中華料理 輝華樓

代表者 李賢輝

一九四八・六・一五 第一九号

中国語講習會會員募集

一、級別人員 高、中、初各三十名

一、資格 男女國籍不問

一、講習期間 自六月十六日三ヶ月

一、講習會費 全期一五〇圓

一、講師 中國留日學生

一、講習會場 東京同學會文化教室

一、受付限五月廿五日十六月十五日

一、申込所 東京同學會内文化部 (千代田區

西神田二ノ二 日華學會内)



主催中華留日東京同學會  
華僑界屈指の出版印刷所  
中華學藝社

東京都文京区小石川町一ノ一

電話小石川(8)一四九五・一六四二番

技術優秀・迅速・丁寧

中國圖書雜誌 中國語關係書 中國關係圖書

中國關係雜誌

同學總會へ來られたら、是非一度お立寄り下さい。

内山書店

千代田区西神田一ツ橋二ノ三(神保町下車)

救世軍本部横道)

中國文學

第四百號 価一五圓

發賣中テ一一四

『大同書』の鍵……齋藤秋男

『家』のロマネスク……飯塚朗

夏衍・『離離草』について……菊池 租

魯迅さんと中國の版畫……内山嘉吉

おうこうち・てるな(三) さねとう・けいしゆう)

中國文學研究會編輯

華光社

東京唯一の中國系日刊紙

東京中華日報社

東京都新宿区新宿二丁目七九番地

中國語家庭教師を世話す 中國語(北京語)を習得したき者で、自家にて勉強した

き者で、家庭教師を必要とするものは、左

記へ申込あれば、御推薦致します。教師は中國留學生です。

東京都千代田区西神田二ノ二

中國留日學生報社

一九四八・七・一 第二〇号

中國語講習會會員募集(高・中・初級各30名)

講習期間 7月1日―9月30日

高級…火・木午後5時―6時半

中級…水・金午後5時―6時半

初級…火・木・土午後5時―6時半

講師…陳鴻群・尹永增・黄振亜

会場…中華留日東京同學會文化教室

申込所…中華留日東京同學會文化部

千代田区西神田2ノ2 日華学会1階 会費全期(元)円

華光 二卷九・十期合併號

五四運動的反省發展開……前言

醒々吧在睡覺與作夢の人們……論讀

從正義說到秩序……陳隆深

人…石丹堂

說民主…蕭心權

中國政治上的四種矛盾…莊智煥

駐軍直立的故事……文實

詩集……運命奏、家書、心訴、懺悔

暴風雨中の心靈……綠野

阿Q與双十節…吳英

華光社發行

中國研究所編

中國の日本論 潮流社刊 價六〇円  
アメリカの新アジア觀 潮流社刊 價八〇円

中國經濟要覽 同文社價百円

桃源 七月號

表紙……三岸節子

◇中國版畫「耕牛」…韓尚義…中日文化研究所

雪の廬山…石田幹之助

玉女の圖について…駒井和愛

―座談會―中日版畫を語る 飯野農夫

也・菊池三郎・内山嘉吉・北岡文雄・小野

重忠・高田修・恩地孝四郎

定婚店…神谷衡平

前橋時代…草野心平

詩經抄(詩)(創作)…江口榛一

中山の狼…泉修一郎

飯戀(声色三部)…北條誠

東京都文京区小石川一ノ一

吉昌社電話小石川(8)3331

中國文學(第百五号)四・五月合併号

文學革命―魯迅の文學史的背景― 竹内好

魯迅さんと中國の版畫(二) 内山嘉吉

國立戲劇學校の業績―附・劇團與興亡史―

飯塚朗

幕 岡崎俊夫

「中國の日本論」(書評) 橫冬彦

文化消息…はいかる

中國文學研究會編輯

華光社發行

テイ・ルーム菓子果實

三洋サンヤン

オ茶ノ水驛前

電話神田 (95) 2725

美味と廉價の店

お菓子喫茶

コスモス

中野驛 北口

一九四八・八・一 第二二号

アジア民族平和文化祭

とき——八月十六日午前十時—午後四時

ところ——日比谷公会堂

参加民族——中国・日本・朝鮮・インドネ

シア・ヒリツピン、ビルマ・其他アジア

諸民族

第一部 各國來賓祝辞・各民族代表挨拶

第二部 民族演出 歌唱・舞蹈・音楽

主催 アジア民族平和文化祭共同委員会

岩波書店

東川博編著 岩波版六法全書

事項索引及参照案文附

新訂版

この昭和廿三年度版は終戦後の激変に應じ

最近まで可能な限り改正論議を含め、従

来の特色を保持したまま一層実用と学習と

に適するものとなっている

(袖珍版一四〇頁未定)

御注文は最寄の書店へ

中國公論八月号第一卷第三號定価三〇圓送

料共

〔論説〕日本の過去の政治組織を論ず：陳博生

中国の対日輿論と日華關係：入江啓四郎

日本の精神民主化を論ず：橋善守

対日賠償と中國新聞の論調：柯宮

明日の運命を占う：范琦

〔解説〕中国演劇運動の史的発展：中演劇研究会

〔随想〕日本の戦争デマ：謝爽秋

〔時評〕反共と天皇制維持：陳ガク芳

東京都千代田区丸ノ内丸ビル四六七号留

日華僑總會社組

テーブル料理 大小御宴會御席

中華料理 揚子江菜館

神田店 千代田区神田神保町一ノ十一

銀座店 中央区銀座西五ノ三

留日華僑東京婦女會

第二次委員改選選挙要項

一、日時民國三十七年九月十日(金)午前

十時—午後四時

一、場所東京都文京区小石川町一ノ一中華

学友會館婦女會内(飯田橋下車)

一、選挙権所有者満十六才以上東京居住の

華僑婦女

一、被選挙権所有者すべての選挙権所有者

(但し婦女會入会の手続をとるべきこと)

一、立候補方法選挙委員會発行の用紙にて

申込むこと(用紙、婦女會、連合會、各区

自治会にあり申込期間、自八月十日至八月

三十一日)

一、選挙法 五名連記、無記名投票

一、選挙委員數二十名

一、採票法省別によらずして票數順に二十

名を当選者とす

一、選挙委員會組織すべて関心ある方は選

挙準備委員となつて協力下さい

留日華僑東京婦女會

東京都文京区小石川町一ノ一、中華学友會

館

電話小石川(旁) 三二八二番

中國圖書雜誌 中國語關係書 中國關係圖

書 中國關係雜誌

中國新刊圖書上海より近着御求覽下さい

内山書店

千代田区西神田一ツ橋一ノ三

(神保町下車救世軍本部横道)

中國研究所編 中國の日本論 潮流社 刊 價六〇円

アメリカの新アジア觀 潮流社 刊 價

八〇円

中國經濟要覽 同文社刊 價 百円

島田政雄著 B9 二六六頁 定價一五〇円

嵐に立つ中國文化

中國各界の文化人と親交のあつた著者が革

命途上にある中國文化の姿をその脈博がき

きとれるようにいきいきと伝えた名著、本

書を中國と日本の平和と文化の社会のため

に贈る

東京日本橋本町四



国際出版株式會社

青年歌集

関鑑子監修 文化部編 定價六五円 送料五円 A六版 上製一三〇頁

これさえあれば！労働歌民謡流行歌等百篇の佳作を読む！ポケット型わかもの歌集

決定版八月中旬發賣 売り切れぬ中にお早く必ず申込下さい

愛情の問題 ひろし・ぬやま著 定價五〇円 送料五円

青春再び来らず悔いなき青春の日々のために青年男女の間に圧倒的好評を受けている

本書を本年度ベストセラーに期待される

日本共産青年同盟

東京都新宿西大久保 307

一九四八・九・一 第二号

九・一八記念 反ファッショ 國際學生大會

時……九月十八日午後一時 所……早稲田

大学大隈講堂

第一部 各國學生代表挨拶・講演——平

野義太郎氏

第二部——映画——戦争と平和・日本

ニュース

主催 在日國際學生懇談會 日本関東學生

自治連合會・中國留日同学總會 在日本朝

鮮學生同盟・インドネシア學生連盟

文連文庫

鹿地亘著 魯迅評傳 B 6 一八〇頁七〇円

千二〇円

親しく文豪に師事した著者が回憶の涙と敬慕をもって綴った魯迅の文学と人、性のうきぶり。

岩崎昶著 日本の映畫 B 6 二二〇頁 一〇円千二〇円東宝爭議の組合側指導者である著者が、日本民族の独立なくして日本文化の、従って日本映画の向上發展はないとの革命的見地から書下ろした映畫評論集。

東京新橋7の12 日本民主主義文化連盟

中國圖書雜誌 中國語關係書 中國關係圖書

中國新刊圖書上海より近着御來覽下さい

内山書店

千代田区西神田一ツ橋二ノ三

(神保町下車救世軍本部横道)

中國關係圖書

山本書店

千代田区神保町二ノ七

(都電専修大学前下車)

喫茶・壽し

中華料理 新華園

省線鶴見驛西口前

パン依託加工

同學會社に市價の半額で奉仕

株式會社 中興産業公司製パン工場 代表

者 謝新淡

本社 東京都中野区昭和通り三ノ二八二

支社神戸市生田区元町二ノ八七

島田政雄著 B 9 二六六頁 定價一五〇円

嵐に立つ中國文化

中国各界の文化人と親交のあつた著者が革命途上にある中国文化の姿をその脈博がききとれるようにいきいきと傳えた名著、本書を中国と日本の平和と文化の社会のため

に贈る

東京日本橋本町四

國際出版株式會社

植田捷雄 日華交渉史

日本の大陸發展とその崩壊過程：一七〇円

江上波夫 アジア民族と文化の形成 一〇〇円

駒井和愛 日本古代と大陸文化 八五円

吉野清人 宗教社會學說 一二〇円

東京神田駿河台一ノ五

野村書店

為聘請華僑小学教師啓事

島根華僑小学校は民國三十五周年に創設したもので、当初の教師は殆ど鳥取高農の留日同学であつた、その後同学諸君が卒業した關係上、殆んど皆鳥取から離れたのでいまは空白状態になつていて、去年の十月以來實際休学状態になつて今迄に至る、六十余名の華僑兒童に與える影響は本當に大きいもので、同学の中でも華僑兒童教育事業に關心のある方が居れば早速本組か又は同學總會と連絡をとるようになります。なほできるだけ優遇してあげるし宿食も問題はない、詳細は本組に問合せて下さい。

東京都千代田区丸ノ内九ビル四階四六七

中國留日華僑總會社組



東京都千代田区西神田二ノ二  
中國留日同學總會文化部  
中華民國廿七年九月

一九四八・一〇・一 第二三號

中國語講習會聽講生募集(初・中・高各級30名)

講習期間 自1948年10月18日至1949年1月18日

初級：火水土 中級：月水金 高級：水木  
午後五時—六時半

講師 留日學生陳鴻群・黃振華・李漢波  
會費 全期800円(中國留日學生免費)

申込所 東京都千代田区西神田二ノ二 中國留日學生東京同學會文化部  
主催 中國留日學生東京同學會

一九四八・一二・一 第二四號

第十回 在日國際學生懇談會

テーマ アジアの家族制度 講師 玉城肇  
先生

日時 一九四九年一月十六日(日曜)正午  
会場 東京都世田谷区玉川仲朝一ノ六二八  
(大井線等々力下車) 中華青年會館

會員券 50円(葉代)

(特に今回は新年の発足を兼ねて、懇談會につづいて各民族の文化交流があるにつき多岐の御参加を期待する)

主催 在日國際學生協議會  
近代選書 價一五〇圓 一六四圓

魯迅研究

内容

魯迅論：坂本徳松

魯迅と「革命文学」：島田政雄

魯迅と小説：寺田良蔵

阿Qと中国農民の生活：赤津益造

魯迅と日本：増田涉

魯迅とソ連：齋藤玄彦

魯迅と中國革命：鹿地亘

紹介「生きる魯迅」：島俊夫

魯迅著訳書目：増田涉

東京都文京区森川町二二

八雲書店

岩村三千著 價一四〇圓 一四圓

毛沢東の思想

アジア問題の解決は中共の存在を無視しては絶対にあげない！しかもこれは同時に百年の今後にもつながる現実の課題である！

本書は◇新民主主義論◇民族連合戦線◇三風整頓の理論◇内戦下の新民主主義◇毛澤東思想の平易なる徹底的解明書

東京都千代田区神田神保町一 金井ビル  
世界評論社

一九四九・一二・一 第二五號

臺灣二、二八事件記念大会

とき：1950年2月27日(日曜)午後1時

ところ：千代田区神田教育會館(省線水道橋都電神保町下車)

第一部 講演：華僑留學生代表

第二部 映画：ソヴェトニュース モスクワの音楽娘

主催 華僑民主促進會 民主中國研究会

後援 中國留日學生東京同學會

一九四九・五・一五 第二九、三〇合併号

平野義太郎著

世界と平和運動

☆B二六〇頁☆定價一七〇円 送料二〇円

第三次世界大戦の脅威がしつこく繰り返されて

いる今日、戦争を防ぐ力として巨大な成長をとげつつある全世界の人民運動を刻

明に書き出している。

知識社

東京都杉並区永田町82

共産党出版部

徳田球一著 廿円 一五円

民自黨か共産黨か

絶対多数を頼んで次々と公約を破り、人民

大衆を弾圧し、民族を外國に賣ろうとする

民自黨の正體はバクロされた。

民族存亡の危機に際し徳田書記長が全國民

に訴える憂國の書！

發賣 中央書籍株式会社

東京・澁谷千駄ヶ谷・四

タカクラ・テル著

うたえわかもの

☆定價 八五円 ☆一〇円☆

「女」で大波紋を投じた著者が日本には歌がないと云う？日本には本當にうたはないだろうか 著者の言葉にじつと耳をかたむけて考えてみよ！

東京新宿西大久保三ノ六七

振替東京一二四六二

民主青年出版部

十部以上二割引

森健編 定價七〇円 千五百円

毛澤東をめぐる英雄

野坂参三序

怒濤の如く今將に全中国を解放せんとする中国共産軍！

その先頭に起つ新世界の英雄毛沢東をめぐる中共の指導者にはどんな人がいるか？

戦陣の山野で中共指導者と寝食を共にした解放連盟の同志が綴る新中國指導者の横顔

中央書籍株式会社

振替（東京）12693

世界・澁谷・千駄ヶ谷四

世界経済研究所編 價二〇〇円千一百円

アジアの民族運動

各國別に戦後の様相を本質的にとらえ今後の方向を示唆す。岩村岡倉小林他権威者執筆。

中國労働史 塩脇幸四郎著

未発表の豊富な資料によりその全貌を解明す（上巻二七〇円）☆五月下旬発行！

白揚社

東京千代田区神田司町1の8

5月号 思潮 定價65円

―魯迅特集―

特別寄稿（以下三本）

魯迅先生の社会観：曹聚仁

中国における魯迅：李白鳳

魯迅の思想変遷に就いて：尹雪曼

ある挑戦：竹内好

魯迅断章：佐々木基一

魯迅における政治と文学：鹿地亘

魯迅のロマンティズム：武田泰淳

「狂人日記」「孤独者」など：小田岳夫

魯迅の文章について：奥野信太郎

憎恨と寂寞：岡崎俊夫

一人で金槌をもってする：擅一雄

☆魯迅年譜

（小説）

郷愁……中谷孝雄

七週間（一）……中村眞一郎

昭森社

東京都千代田区神保町1ノ神3

一九四九・八・一五 第三四号

留日學生夏休みの歸郷は飛行機で！！

東京・台北七時間

東京・香港九時間半

着地拂で帰郷できます

東京―臺北間

特別往復料金 US二〇〇ドル 四〇日間

有効

普通往復料金 US二八八ドル 一ヶ年間

有効

片道料金 US一六〇ドル 一ヶ年間有効

東京―香港間

特別往復料金 US三三五ドル 三〇日間

有効

普通往復料金 US四〇三ドル二〇セント

一ヶ年間有効

片道料金 US二三四ドル 一ヶ年間有効

着地拂の場合

日本に於ける保證人の保證書を要します

又目的地に於ける旅客の住所を豫め御知らせ下さい

現在台湾ドル六ドルに対し米ドル一ドルの

換算率です

CNAC中國航空公司

詳細のお問合せは 東京・丸ノ内4130

2834 大阪・福島8213026 神戸・元町

5243 3426 名古屋・東5880 1912 福

岡・東2063 岡山・5524 8611

―お申し込みはお早く―

代理店 京阪神急行電鐵

一九四九・一〇・一一 第三六号

中華人民共和國成立 慶祝 中央人民政府樹立（以下14の広告は当祝賀広告に参加）

中國研究所

東京都千代田区神田駿河台政経ビル内

東京華僑聯合會職員全體

萬華商會

東京新橋三丁目六番地



電話芝 (43) 〇五九五

代表者 蔡火欽

東星商會

東京新橋四丁目十四番地

電話芝 (43) 一〇二一〇

代表者 簡茂煒

中國研究全國學生連合會

東京都千代田區神田駿河台政經ビル内

中國留日華僑總會

華僑民主促進會機關紙

華僑民報

東京都千代田區西神田二ノ二

衣類専門店

寶屋

新宿西口中央地下道入口前

内科 外科 小兒科 泌尿器科 妊産婦人科

安康醫院院長 李嘉章

池袋二ノ一六八三

電話大塚三五五四

東京同學會健康相談所

診療日時 毎週水曜日

自午後二時至五時

X線撮影無料 投薬注射實費

一般の利用を歓迎す

日本民主青年團機關紙 週刊民主青年

みんなでみんなの活動をこの。しんぶん

のせて

町へ一村へ一工場へ一濱へ一山へ一

一部四圓・半年二二〇圓

東京都文京區湯島三ノ一

民主青年經營局

振替東京一二四二二

中國圖書雜誌 中國語關係書 中國關係圖書

中國關係雜誌

中國新刊圖書香港より近着御來覽下さい

内山書店

千代田區西神田一ツ橋二ノ三 (神保町下車)

救世軍本部横道)

留日華僑協會 東京華僑聯合會 御推薦

内田直作先生著

日本華僑の社會研究

A5四一八頁上製箱入

價五〇〇圓千留五〇圓

★在日華僑の歴史と現状の貴重文獻!

發行所 東京神田神保町同文館

好評常識シリーズ、第二弾、

★新中國と日本の命運

★講和をのぞむ日本國民

★ソ連の謎をとく

價各二十圓千六圓

伊藤書店 東京神田小川町二

一九五〇・二・一 第三九号

中国木刻集 (非賣品)

魯迅先生ゆかりの紙「西ノ内」を使用した

豪華本で二。土方定一氏の解説を付した

四十三點 (着色二點) を収録している。

發行所 社団法人 中日文化研究所

東京都中央區銀座四ノ二 教文館ビル八階

電話京橋 (36) 七五六〇番

一九五二・二・一五 第二期第一号

毛澤東選集全五卷

★第一巻初版忽ち賣切れ! ★再版發賣中!

★中共中央毛澤東選集出版委員會編纂の人民出版社版 (一九五二年十月刊) による!

★毛澤東の重要著作、講演を収録した決定版!

定價各卷 280円 全巻一時拂 1380円

本社 京都 左京北白川平井町

支社 東京神田神保町一ノ一四

三一書房

抗日自衛隊、

抗日自衛隊、

抗日自衛隊、

孔厥・袁静作 飯塚朗・大川要訳 B6四

五〇頁 價二八〇円

絶讃重版出来!

新中國で十数万部を売り尽くし、新しい文

学として嵐のような反響を捲き起した問題

作日抗日八年、皇軍怒涛の進攻に堪え、奇

没の遊撃戦を展開した中国自衛隊組織の全

貌……彼らはいかにして組織され、武器を

とり、闘ったか? 生々しく描かれる凄愴の

実戦、弾丸の下に生まれる恋と同志愛!

こちらはもう朝だ

一四九年度スターリン賞作品一

チャコフスキー作 泉三太郎訳 B6四三

〇頁 價二八〇円

圧倒的好評!



北方から日本を覗くソ連最前衛拠点、南樺太……ソ連はそこで何を考え、どのような建設を進めているだろうか？日本人すべての疑問に答えて、この書は出た！……舞台を戦後の南樺太に置き、残留日本人を描き、進められる大建設の帳をひらく、これはソ連の政策を伝える唯一の生きた報告書だ！

共産黨宣言

マルクス・エンゲルス著 堺利彦・幸徳秋水訳

★千古に輝く名訳、更に解説を加えて、堂々B6版百二〇頁、定価三十円の義挙的出版！東京・神田・小川町 彰考書院 振替・東京・〇〇二〇

満州の土地改革の物語 定価 一九〇円 暴風驟雨 周立波著 鹿地・安島共訳

満州国は八・一五以後どうなったか？これは恐らく全日本人の疑問であろう。ここで

もまた中国本土と同じく血みどろの解放の戦いが戦われ、土地改革が断行され、働く者の楽土が建設された。東北の一農村に展開された土地改革の嵐を描いたこの小説は日本人のこの疑問に明らかな解答をあたえている。

スターリン

作家への手紙 除村吉太郎編

附録言語学に於るマルクス主義に就いて

140円

東京千代田富士見町1 ハト書房 振替東京

京13663

15日―21日 世紀の女王

モツアルトの恋

22日―28日 サンセット大通り

ピカソ訪問

29日―6日 哀愁

学生割引50円

新宿 地球座 TEL (35) 0861

ベリカン石鹸

株式會社東花

一九五二・三・二五 第二期第二号

中国関係の図書なら

何をさておいても

先づおいで下さい

東京都千代田区神保町

内山書店店主内山完造

平和をねがう女性の友 新女性 増頁断行！ ¥800円 400

×グラフ×

☆渋谷をうづめた六千の平和の歌声

☆子供を守れ！(井の頭保育園)

☆化粧品工場(資生堂東京工場)

☆はたらく女性のつとめ(国際婦人デー・文化祭より)

婦人参政の日を迎えて…神近市子

☆平和のこえ(第二集)―

平和へのたたかい(渋谷事件)…新制東大

木村三郎々宮原正宏

B二九ツイ落の金子村を訪ねて…国民救援

会 田中正

戦争をふせぐ女性の力…帯刀貞代

(講座) 賃金のはなし…森近敬一

私たちの芝居を上演するまで…(富士紡)

水野タキ子

いつの日か(生活保ゴをとるまで)…東京

吉田ハル

山びこ、の無算さん、のんちゃん、の石

井さん対談

はるかな祖国の娘たちへ…在中国 吉原功

風載小説 若いちかい…窪田てつ

童話 雁風呂…藤田孝美

振替東京13663 新女性社 東京都・神田小川町1の11

一九五二・五・二五 第五九号

抗日戦の八路軍の不屈な闘いの物語

平原烈火 徐光耀著 桑島信一譯 予300円

この小説は、抗日戦のもっとも烈しい時代

における中国共産党八路軍の、不屈の斗志

と、果敢な戦いの姿を息づまるようなリアルな筆によって描き出している。作中に活躍する無数の英雄群像が、当時すでに今日の輝かしい新中国の出現を約束していることを読者は知るであろう。

白頭山 長篇叙事詩 趙基天著 許南麒譯

150円

金日成のバルチザン斗争をうたった雄大な

叙事詩で北鮮で十萬部を売尽くして民族解

故史上に輝かしい功績を樹立した

毛澤東の文藝講話 附録文芸講話の実践のために 価一〇〇円

毛沢東の文芸路線を学習するために大切な資料として、郭沫若・周揚・何其芳の論文を加えた決定版

この一冊で中国のことならなんでも分る  
五月末発売

新中国の基礎知識 百の疑問にこたえて  
予二五〇円

本書の特色 中国について最も正確な認識をもつ三十七名の権威者に百の疑問を提出し正しい解答をえてまとめたもので新中国の全貌を明らかにしている

近着の写真・版画・漫画多数挿入  
会社・学校・組合・図書館で必備の書！

予約部数申込受付中  
友好協会またはハト書房宛御連絡下さい

ハト書房 千代田区富士見町1振替東京  
13023

陳伯達他著 價二四〇円  
毛澤東選集

別冊 学習参考資料 發賣中！  
選集發行以來、各論文の書かれた歴史的背景や内容の詳細な解説を出して欲しいという意見や要望が全国の読者よりまいりこれにこたえて、ここに中国における国民運動

毛沢東思想の成果を編集して刊行する  
馬烽・西戎共著 三好一訳 價二九〇円

東洋鬼敗日記

―呂梁英雄伝 続編―

五月末発売

いま全国で人気の焦点にある「白樺天皇行状記」の続編。本編にいたって、日本帝国主義の軍隊に反抗する農民の運動はいよいよ酷しくなり、面白さも倍加してきた。

本社 京都左京北白川 支社 東京神田神保町 三一書房

東大で毛澤東思想講座

毛沢東思想を学ぼうという声は、学生、労働者の中から、次々と起こって来たが、今度東大中研では、次の様に系統的な毛沢東思想連続講座を開くことになった。

五月三十一日(土) 毛沢東の国家論 平野義太郎氏

六月一日(日) 毛沢東の民族解放理論 岩村三千夫氏

六月七日(土) 毛沢東の農業理論 山田勝次郎氏

六月八日(日) 歴史学から見た毛沢東思想 井上清氏

六月十四日(土) 哲学から見た毛沢東思想 松村一人氏

六月十五日(日) 中国文学と毛沢東思想 野間宏氏

六月二十一日(土) 実践家としての毛沢東 亀田東吾氏

場所 東京大学法文経七番教室  
時間 それぞれ午後三時―五時

整理券 七回通し五十円、一回十円(整理

券は当同学会にもあります)

主催 東京大学中国研究会

後援 中国研究全国学生連合会

一九五二・一〇・一五 第六二号

魯迅祭

日時：十月十七日午後六時半

場所：中華青年会館(大井線等々力駅下車十分)

講演：内山完造・小田獄夫・呂永和  
朗読：何乃昌

合唱：中国歌曲  
座談：島田政雄司会

主催 中国留日同学総会 中華青年会館  
日時：十月廿七日午後五時半

場所：芝中央労働会館講堂(都電御成門下車)

講演：内川完造・徳永直  
合唱：中国歌曲・白毛女の歌

中国映画  
主催：日本中国友好協会

一九五三・一・一、一五合併号 第六四号

頌春 今年こそは僑胞のために、数多くの善いことがなされねばなりません。

旧年中は色々御愛顧を賜り、御蔭様にて社業も日に日に発展し、いよいよ僑胞の御期待にそえる確信を深めて参りました。何卒、変わりない御援助と御鞭撻を御願います



ると共に、僑胞の皆様のご多幸を祈り、年頭の挨拶に換えたいと思います。

協同組合 日本華僑經濟合作社

東京都港区芝新橋四ノ一四

電話芝(33)五〇七二、五四六三

理事長 呂漱石 常任理事 黄水錦 副理事長 劉啓盛

今年こそ中日貿易促進と実現え努力しま

しょう

松永洋行

社長 林炳松

恭賀新春

新中國と東南アジア紹介

中日友好の先鋒

国際新聞

平和と眞實を守る新聞

華僑の言論を守る新聞

購読料(送料共)一ヶ月百五拾円

大阪市西区靱下通一ノ七

振替貯金口座一〇二六七九番

中日貿易と日本の平和産業の紹介東南アジア貿易の指針

旬刊 国際貿易導報

華僑に分かり易い華字紙

大阪市西区靱下通一ノ七

国際新聞社内

留日華僑貿易商公會

弁事所 大阪市西区靱下通り一ノ七国際新聞社内

会長 林炳松

副会長 陳承家

副会長

陳義方 常務理事 許炎亭 常務理事 林水永 會計理事 廖金水

新報中国圖書社々入荷値下斷行

新刊 30:1000 人民幣

旧刊 35:1000

大安書房 東京都千代田区富士見町2-1

TEL (33) 2613

新中國定期刊行物

一人民日報 工人日報 天津日報 とも

月七〇〇円

一人民週報 世界知識 中國青年 とも

一部三〇〇円

民主新聞(日文週二回刊) とも月八〇円

カタログ呈(一〇円切手同封)

外国圖書專門店(中ソ英米仏)

九段書房

東京都千代田富士見1の3

振替東京 86195 番

恭賀新春

★新春番組★

1月11日-19日 真空地帯

20日-25日 陽のあたる場所

26日-2月2日 アパッチ岩

3月3日-9日 肉体の悪魔

旅愁

ミラノの奇蹟

新宿 地球座

東京唯一30円の名画劇場

新春を飾る豪華番組陣

1月13日-19日 アフリカの女王

20日-26日 ホフマン物語

27日-2月2日 巴里のアメリカ人

2月3日-9日 歌劇王カルーソー

10日-16日 会議は踊る

17日-23日 第三の男

24日-3月2日 二百万人還る

毎日曜10時より「レコード・コンサート」

「文化映画鑑賞會」交互実施

新宿 日活名画座

恭賀新春(以下10の広告は当祝賀広告に參加)

日本国民救済會

東京都港区芝新橋七ノ一二文化工業會館内

電話 芝(33)三五六一

東京華僑總會

弁事所 東京都中央区銀座西八ノ八

電話銀座(33)四四九八 七九九四

日本中国友好協會

東京都千代田区西神田二ノ二東方ビル内

電話九段(33)二五三九

華僑文化會

連絡所 東京都千代田区西神田二ノ二東方ビル内

電話九段(33)二五三九

中国自然科学協會

弁事所 東京都文京区小石川一ノ一

電話小石川(33)四九九八

華僑文化經濟協會

弁事所 神戸市生田区柴町通二ノ四六



華僑各界懇談会

弁事所 東京都中央区銀座西八ノ八華僑会館四階  
中国語友の会

東京都千代田区三ノ二東方ビル内  
中国文學藝術研究会

東京都千代田区富士見町一ノ一〇  
(共済ビル)ハト書房内

中国研究全国学生連合會  
連絡所 東京千代田区九段四ノ二

一九五三・二・一 第六五号

◆記念論文募集◆

三カ年の基礎建設の成功によって、新しい大建設への準備をととのえた中国は、本年から第一次五カ年国家建設に入ります。この第一年度の意義ある年にあたり中国の発展を記念して、記念論文を募集いたします。併せて御参加の程をお願いします。

一、テーマ①第一次五カ年国家建設に関するもの ②中日文化学术交流に関するもの  
一、応募資格 青年、学生に限る。国籍の如何を問いません

一、字数四百字 請原稿用紙二〇枚以内

一、締切三月末日まで

一、審査員左記諸先生に交渉中  
安芸峻一 伊藤武雄 岩村三千夫 島田政雄 拓殖秀臣 平野義太郎

一、発表五月一日号本紙上に掲載  
一、賞品 優秀作品に賞金・賞品・記念品

を贈呈し、適当な学術誌等に発表します。

日中友好協会からも賞品の提供があります  
一、送你先 東京都神田局区内西神田二ノ二 中国留日同学總會、学生報「記念論文」係

学生報編集委員會

後援 日中友好協会

慶祝中ソ友好同盟條約締結三周年紀念  
SOVIET UNION

ソ同盟画報 色彩版第10号発売中  
各国語版・日本語解説つき ¥100 地方 ¥120

—主な内容—  
スターリンの演説・歴史的党大会五カ年計画建設の情況

1 今日のエルトウイシユ

2 ソウイェト・リトワニアの現況

3 機械トラクター・ステーション

テベルタから黒海への探検旅行ルポ  
スターリングラード水力発電所建設と淺深機

—科学と生活—砂漠の氣候の研究  
ボルガ・ドンの建設につくした人々

映写技師達の生活

ナウカKK洋書部

東京都千代田区神保町2-2 カタログ呈要郵券

振替口座東京 86117  
Peoples China 人民中国 半月刊

1部 40円 〒8

半年 ¥200円 〒とも

一年 ¥300円

カタログ呈 (英仏露エスペラント外文出版社發行)

國際書店 代理店極東書店

東京都千代田区神田神保町 3  
振替東京 100099 番

中国図書続々入荷値下断行  
新刊 30円・1000 人民幣  
旧刊 30円・1000

毛沢東選集 1・2 卷  
宋慶齡 為新中国奮斗  
2月より下記え移転

大安書房  
東京都千代田区神保町2-4  
TEL (33) 2862 (呼出)

新中國定期刊行物

—人民日報 工人日報 天津日報 〒とも  
月七〇〇円

—人民週報 世界知識 中國青年 〒とも  
一部三〇円

—民主新聞 (日文週二回刊) 〒とも月八〇円  
カタログ呈 (一〇円切手同封)

外國圖書專門店 (中ソ英米仏)  
九段書房

東京都千代田富士見1の3  
振替東京 86195 番

新中國と東南アジア紹介  
中日友好の先峰

國際新聞

平和と眞実を守る新聞

華僑の言論を守る新聞

購読料(送料共)一ヶ月百五拾円

大阪市西区靱下通一ノ七

振替貯金口座一〇二六七九番

アジア

亜細亜通信ANS

日刊 權威ある中国・アジア事情及貿易事情通信

資料 特集新中国建設三年來の成果

1953年國慶節記念論文集—全訳— 価300円

ASIA NEWS SERVICE

東京都千代田区西神田2-1-2

(東方学会ビル)電話(33) 1788

東京中央郵便局私書函884号

中国東南ア貿易

松永洋行

社長 林炳松

中国貿易と日本の平和産業の紹介 東南アジア貿易の指針

旬刊 国際貿易導報

華僑に分かり易い華字紙

大阪市西区靱下通一ノ七国際新聞社内

協同組合 日本華僑經濟合作社

東京都港区芝新橋四ノ一四

電話芝(55)五〇七二、五四六三

理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常任理事 黄水錦

★2月番組★

1月26日—2月2日 アバツチ砦西部の男

2月3日—9日 肉体の悪魔

ミラノの奇蹟

10日—16日 超音ジェット機

ボーリンの冒険

入場料一般100学生80

新宿地球座

東京唯一30円の名画劇場

豪華番組陣

1月27日—2月2日 巴里のアメリカ人

2月3日—9日 歌劇王カルーソー

10日—16日 会議は踊る

17日—23日 第三の男

24日—3月2日 二百万人選る

3月3日—9日 処女オリヴィア

10日—16日 肉体の悪魔

毎日曜10時より「レコード・コンサート」

「文化映画鑑賞会」交互実施

新宿日活名画座

一九五三・二・一五 第六六号

二・二八起義六週年紀念

講演と映画の夕

日時二月二十八日午後五時半

場所渋谷公会堂(省線渋谷駅下車)

講演 劉明電先生 大山郁夫先生 その他各団体メッセージ

合唱 中国の歌

映画 近着中国映画

主催二・二八記念実行委員会

協同組合

安田火災 共栄火災 大成火災 代理店

日本華僑經濟合作社

東京都港区芝新橋四ノ一四

電話芝(55)五〇七二、五四六三

SOVIET UNION

各国語版・日本語解説つき

ソ同盟画報 色彩版第10号発売中

中国語版あり—主要内容— ¥100 地方

¥120

スターリンの演説・歴史的党大会五カ年計画建設の情况

1今日のイルトウイシュ

2ソウイェト・リトワニアの現況

3機械トラクター・ステーション

テベルタから黒海への：探検旅行ルポ

スターリングラード水力発電所建設と浚渫機

—科学と生活—砂漠の気候の研究

ボルガ・ドンの建設につくした人々

映写技師達の生活

ナウカKK洋書部

東京都千代田区神保町2-1-2 カタログ呈

要郵券

振替口座東京80147

Peoples China 人民中国 半月版

1部 40円 千8

半年 200円 千とも

一年 300円

カタログ呈(英仏露エスペラント外文出版社発行)

国際書店 代理店極東書店  
東京都千代田区神田神保町3

振替東京10009番  
中国図書続々入荷値下断行

新刊 30円・1000人民幣  
旧刊 35円・1000

毛沢東選集1・2巻  
宋慶齡 為新中国奮斗

2月より下記へ移転  
大安書房 東京都千代田区神保町2-4 T

E L (33) 3862 (呼出)

◇御挨拶◇  
こんど都合により九段書房を閉店いたしました。いままで九段書房で扱っていただきました業務は全部新発足の国際書店が引きつきます。これまでの御愛顧を感謝し、閉店の御挨拶を申し上げます。

東京都千代田区富士見町一の一三  
九段書房

新聞店

外国書籍は国際書店え!

一人民日報 工人日報 天津日報 〒とも  
月七〇〇円

一人民週報 世界知識 中国青年 〒とも  
一部三〇円

新華日報 〒とも月五三〇円  
NEW CHINA 新中国画集 総アート印

刷豪華絹装訂 P一八〇価四〇〇円下四八円

カタログ呈(一〇円切手同封)  
外国図書専門店(中ノ英米仏)  
国際書房

東京都千代田区神保町1の25  
振替東京128624

スズラン通り東京堂裏  
名画特選上映

17日-23日 女狐  
愛人ジュリエット

24日-3月2日 女ひとり大地を行く  
3月3日-9日 ベルリン陥落

10日-16日 肉体の冠  
ホーリンの冒険

17日-23日 花嫁の父  
哀愁のモンテカルロ

24日-30日 村八分  
池袋 人世塵

★2・3月番組★  
17-23日 マン画傑作集

1.猫の玉突き  
ほらふきニヤン公

2.斗牛の女王  
凸門猛獣狩

24-3月3日  
女ひとり大地を行く

3-9日 ベルリン陥落  
魔墟の守備隊

入場料 一般二〇〇 学生一〇〇

新宿 地球座  
東京唯一30円の名画劇場

豪華番組陣

24日-3月2日 二百万人還る  
3月3日-9日 処女オリヴィア  
10日-16日 肉体の悪魔

毎日曜10時より「レコード・コンサート」  
「文化映画鑑賞会」交互実施

新宿 日活名画座

一九五三・三・五 第六七号

☆協同組合

安田火災 共業火災 大成火災 代理店  
日本華僑経済合作社

理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常務理事 黄水錦

東京都港区芝新橋四ノ一四  
電話芝(33)五〇七二・五四六三

Peoples China 人民中国 半月刊

1部 40円 〒8  
半年 200円 〒とも  
一年 300円

カタログ呈(英仏露エスペラント外文出版社発行)

国際書店 代理店極東書店  
東京都千代田区神田神保町3

振替東京10009番

訂正 前号廣告で国際書房とあるのは国際書店の誤りです



新聞店

- 一人民日報 工人日報 天津日報 千とも
- 月七〇〇円
- 一人民週報 世界知識 中国青年 千とも
- 一部三〇〇円
- 新華月報千とも月五三〇円
- N E W C H I N A 新中国写真集総アト印
- 刷豪華絹装訂 P一八〇価四〇〇円千四八
- 円
- カタログ呈(一〇円切手同封)
- 中ノ英米獨佛 國際書店 外國書籍専門
- 東京都千代田区神保町1の25
- 振替東京 19664
- スズラン通り東京堂裏
- 中國圖書雜誌専門店
- 中法漢學研究所刊通檢類
- 甲骨・金石・史地に關する古書豊富
- 其他北京葉董閣所藏書籍注文に應じます
- 新刊書
- 跨跨到新的時代來(丁玲) 三〇〇円 人物
- 與紀念(蕭三) 三二〇円
- 為新中国奮斗(宋慶齡) 五四〇円
- 暴風驟雨上下(周立波) 七五〇円
- 雪(巴金) 三〇〇円
- 朝鮮紀行(徐壽成等) 一八〇円 向三八線
- 前進(杜高等) 二一〇円
- 滅亡(巴金) 三〇〇円
- 東京都千代田区神田神保町二ノ四
- 電呼出(㊄) 二八六二
- 振替東京五四一五三

(山本書店対面)

- 大安書房
- ¥20 千8中國文藝第14号3月10日発売
- 阿Q正伝の成立について 東大助教工藤
- 章
- 集團翻譯について—早大中研研究活動の報
- 告—さねとう・けいしう
- 中國文學藝術の動向
- 演劇大コンクールについて—
- 中國における文化交流—
- その他トピック・ニュース多数
- 詩……艾青
- 小説「土地」……趙樹理
- 千代田区富士見町一の一〇共済ビル(ハト
- 書房内)
- 中國文學藝術研究會
- ◇記念論文募集◇
- 三カ年の基礎建設の成功によって、新しい
- 大建設への準備をととのえた中国は、本年
- から第一次五カ年国家建設に入ります。こ
- の第一年度の意義ある年にあたり中国の發
- 展を記念して、記念論文を募集いたします。
- 奮って御参加の程をお願いします。
- 一、テーマ①第一次五カ年国家建設に關す
- るもの②中日文化學術交流に關するもの
- 一、応募資格 青年、學生に限る。国籍の
- 如何を問いません
- 一、字数 四百字詰原稿用紙二〇枚以内
- 一、締切 三月末日まで
- 一、審査員 安芸岐一先生 伊藤武雄先生 岩

村三千夫先生 島田政雄先生 拓殖秀臣先生

- 平野義太郎先生
- 一、發表 五月一日号本紙上に掲載
- 一、賞品 最優秀作二篇賞金一万円づつ
- 他に副賞
- 優秀作品二篇賞金五千円づつ 他に副賞
- 佳作四篇賞金二千円づつ 他に副賞
- の外適當な學術誌に掲載を斡旋します。
- 一、送り先 東京都神田局区内西神田二ノ
- 二 中國留日同学総会、學生報「記念論文」
- 係
- 學生報編集委員會
- 後援 日中友好協會
- 請閱 僑聲月刊
- 本刊為華僑唯一國文報章純本僑民言場專登
- 一切僑界消息盡量發表僑衆意見仍附設日文
- 欄以便同胞訂閱全年報費僅日金貳百圓郵費
- 在內倘蒙索閱樣張請寄下郵票八圓立即奉送
- 中國僑聲社啓
- (通信處) 東京大森郵便局私書函四八号
- 低利貸付 三元産業株式會社
- 取締役社長 吳榮藏
- 東京都港区芝新橋三ノ四
- 電話芝(㊄) 三二五二
- 3日 ベルリン陥落
- 9日 自転車泥棒
- 10日 血(スカラ・ム・シユ) 斗
- 16日 ポーリンの冒險
- 17日 花嫁の父
- 23日 哀愁のモンテカルロ

24日 村八分

31日 セールスマンの死

6日 肉体の冠

文士経営 池袋 人世座

563338

地球座が3月に贈る豪華番組

3月3日-9日 ベルリン陥落

10日-16日 血闘 魔城の守備隊—コマンチ族の最後—

17日-23日 花嫁の父 復讐の二連続

24日-4月2日 むらはちぶ ヒットパレード

新宿地球座 村八分

30圓名画劇場

皆様に贈る三月の豪華番組陣容

3月3日-9日 処子オリヴィア

10日-16日 肉体の悪魔

17日-23日 愛人ジュリエット

24日-30日 美女ありき

31日-4月6日 チャプリンの殺人狂時代

新宿 日活名畫座

一九五三・三・一五 第六八号

◆記念論文募集◆

三カ年の基礎建設の成功によって、新しい大建設の準備をととのえた中国は、本年から第一次五カ年国家建設に入ります。この第一年度の意義ある年にあたり中国の発

展を記念して、記念論文を募集いたします。奮って御参加の程をお願いします。

一、テーマ①第一次五カ年国家建設に関するもの②中日文化学术交流に関するもの

一、応募資格 青年、学生に限る。国籍の如何を問いません

一、字数 四百字詰原稿用紙二〇枚以内

一、審査員 安芸岐一先生 伊藤武雄先生 岩村三千夫先生 島田政雄先生 拓殖秀臣先生 平野義太郎先生

一、発表 五月一日号本紙上に掲載

一、賞品 最優秀作 二篇 賞金一万円づつ 他に副賞

優秀作品 二篇 賞金五千元づつ 他に副賞 佳作 四篇 賞金二千元づつ 他に副賞

の外適当な学術誌に掲載を斡旋します。

一、送り先 東京都神田区内西神田二ノ二 中国留日同学總會、学生報「記念論文」係

学生報編集委員会 後援 日中友好協會

☆安田火災 共榮火災 大成火災 代理店 協同組合 日本華僑經濟合作社

理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常務理事 黃水錦

東京都港区芝新橋四ノ一四 電話芝(五)五〇七二・五四六三

中国圖書雜誌專門店 中法漢學研究所通檢類

甲骨・金石・史地に關する古書豊富 其他北京葉叢閣所藏書籍注文に應じます 新刊書

跨跨到新的時代來(丁玲) 三〇〇円 人物 與紀念(蕭三) 三三〇円

為新中国奮斗(宋慶齡) 五四〇円 暴風驟雨上下(周立波) 七五〇円

雪(巴金) 三〇〇円 朝鮮紀行(徐鑄成等) 一八〇円

向三八線前進(杜高等) 二二〇円 滅亡(巴金) 三〇〇円

東京都千代田区神田神保町二ノ四 電呼出(五)二八六二

振替東京五四一五三 (山本書店對面) 大安書房

新開店 一民日報 工人日報 天津日報 千とも

月七〇〇円 一世界知識 中國青年 千とも 一部三〇〇円

新華月報 千とも 月五三〇円 NEW CHINA 新中国写真集總アクト印

刷豪華絹裝訂 P一八〇圓四〇〇円 千四八円

カタログ呈(二〇円切手同封) 中ノ英米獨佛 國際書店 外國書籍專門

東京都千代田区神保町1の25 振替東京136654

スズラン通り東京堂裏 Peoples China 人民中国半



月刊

1部 40円 〒8

半年 400円 〒とち

一年 800円 〒

カタログ呈（英仏露エスペラント外文出版社発行）

国際書店

代理店 極東書店

東京都千代田区神田神保町3

振替東京 10009番

名画特撰上巻

17日―23日 花嫁の父

哀愁のモンテカルロ

24日―30日 村八分

31日―4月1日 セールスマンの死

肉体の冠

文士経営 池袋人世座

30圓名畫劇場

皆様に贈る三月の豪華番組陣容

17日―23日 愛人ジュリエット

24日―30日 美女ありき

31日―4月6日 チャップリンの殺人狂時

代 毎日曜10時より「レコード・コンサート」

「文化映画鑑賞会」交互実施

新宿 日活名画座

一九五三・五・一五 第七二号

新しい中国

帰国者の体験から

朝日新聞社在華同胞帰国協力会共編

機関紙共同デスク 推薦のことは一國鉄労働組合中央執行委員情報部長 山田聡日

今回中国から帰国された人々の中から、

生々しい中国建設の現実を手記して戴き、

取り纏めて発行出来ることになったことは、

当を得たものとしてよろこびにたえない。

とくに本書は、中国の各層にふれた取扱い

を致し、遅しく前進を続ける中国を知る上

に貴重な内容を有していることを確信する

本社及各労組民主団体本部・在華同胞帰国

協力会機関紙共同デスクにて予約受付

25日発売・朝日新聞社

B6一六〇頁アト四頁 価80円

中国文藝15

内容

現段階における中国作家の任務

作家の創作と実践……姚華

潮流 社会主義リアリズムの旗の下に

作品紹介・文藝通信

小説 二人の産婆……馬烽 その他

價二〇 千八圓

東京都千代田区富士見町一の一。ハト書房

内

中国文学藝術研究会発行

☆安田火災 共榮火災 大成火災 代理店

協同組合 日本華僑経済合作社

理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常務

理事 黄水錦 東京都港区芝新橋四ノ一四

電話芝(五三) 五〇七二・五四六三

一九五三・六・五第七三、七四合併号

〒20千8 中国文藝 16号

小説特集号射たれなかつた彈丸 丁玲

趙保成爺さん 馬烽

ことしはみんな筆をとうろう老舎

千代田区富士見町一の一十・共済ビルハト

書房内

中国文学芸術研究会

☆安田火災 共榮火災 大成火災 代理店

協同組合 日本華僑経済合作社

理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常務

理事 黄水錦

東京都港区芝新橋四ノ一四

電話芝(五三) 五〇七二・五四六三

一九五三・七・二五 第七五号

新事務所が落成しました。新事務所営業

を致しておりますから倍旧の御引立てをお

願いたします。

安田火災 共榮火災 大成火災 代理店

協同組合 日本華僑経済合作社

理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常務

理事 黄水錦

東京都港区芝新橋三ノ四

電話芝(五三) 七二・五四六三

一九五三・一一・五 第七七号

☆安田火災 共榮火災 大成火災 代理店

協同組合 日本華僑經濟合作社

理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常務理事 黃水錦

東京都港区芝新橋四ノ一四

電話芝(三三)五〇七二・五四六三

一九五三・一一・二五 第七八号

寮◇生◇寮◇集

本会館に入寮を希望する方は左記書類を揃えて本会館又は同学会まで申込んで下さい。提出書類：一、入寮願書(本会館所定のもの、同学会にあり)

二、東京同学会員証明書

三、在学証明書

四、健康診断書

中華青年会館

☆安田火災 共榮火災 大成火災 代理店

協同組合 日本華僑經濟合作社

理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常務理事 黃水錦

東京都港区芝新橋四ノ一四

電話芝(三三)五〇七二・五四六三

一九五三・一一・二五 第七九号

☆安田火災 共榮火災 大成火災 代理店

協同組合 日本華僑經濟合作社

理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常務理事 黃水錦

東京都港区芝新橋四ノ一四

電話芝(三三)五〇七二・五四六三

一九五三・一一・二五 第八〇号

「クリスマス歓迎ダンスパーティー」主催

平和寮

当寮では来るクリスマス歓迎するに当り、

同寮間の親睦と中日親善をも兼ねたダンス

パーティーを左の如く開きます

一、日時 十二月二十日(日曜日)午後六

時—十時迄

一、場所 中華学友会館(後楽寮)文化ホー

ル

一、バンド・スウィングとハワイアンパ

ン

一、会員券一枚百円(紅茶付き)参加御自

由、御同伴も歓迎します

中国近代史学習会

テキスト 胡華「新民主主義革命史」

日期 毎週月曜午後五時—七時

場所 同学会小会議室

会員諸兄の御参加を希望致します

☆安田火災 共榮火災 大成火災 代理店

協同組合 日本華僑經濟合作社

理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常務理事 黃水錦

東京都港区芝新橋四ノ一四

電話芝(三三)五〇七二・五四六三

一九五四・一二・一一 第八一號

中国文学選書 全五十冊

中国は今や「東洋の中国」から「世界の中

国」へと躍進を遂げた。その華々しい現実を正しく捕えるとともにその因つて来る所以を民族の声である文学を通して知らなければならぬ。

絶賛発売中

馬加作・牧浩平訳

しほまぬ花

36判・一六〇頁・一〇〇円

王耀軍が思出の蒙古草原を血潮に染めて革命お人柱となった壮烈な物語指導的文芸理論家周揚が最近四年間における名作として

激賞

東大教授 倉石武四郎監修

続刊(二月下旬予定)

老舍作・黎波訳

春の華・秋の実

茅盾作・小川環樹訳

ホンコン脱出記

★以下各月一冊刊行

★続刊以下書名は仮称

お註文は

最寄りの書店か中国留日同学会(東京都

神田局区内西神田二—二)又は直接本社

内容見本進呈

体裁 36判・上質紙

頁数 各冊平均160頁

定価各冊・100頁送料各冊・8円

東京都千代田区神田神保町2の40

替東京25番

弘道館



一九五四・三・一 第八二号

1954年2月28日正午—9時 華僑親睦会  
中国通商貿易視察議員団々長 池田正之輔  
会務報告

—休息—  
歌舞 楽団いちよう

奇術 陳徳山

合唱 横浜華僑婦女会

少女三重奏 小原聖子他

歌舞 中国音楽研究会 横浜中華学校学生

伸奏新合唱団

独奏 井上頼豊 小原安正

—休息—

二(下午五時—八時)

中国電影

週報 四卷

葡萄熟了的的時候

其他

閉会辞

歡迎多激親戚朋友光臨会場

一九五四・五・一 第八三・八四合併号

北京放送日本語の時間

(1954.3.1より実施)

第一回 東京時間 06:00—07:00

波長 468.7m/40kc

49.1m/6100kc

29.24m/10260kc

第二回 東京時間 20:00—20:30

波長 49.1m/6100kc

25.66m/11690kc

19.92m/15060kc

東京都の慰霊祭

日時五月廿九日土午後一時

場所 築地本願寺(都電築地下車)

「五・四」卅五週年紀念

アジア青年交歓

ダンス・パーティ

一、五月五日(水)午後五時

一、後楽寮文化ホール

主催 中国音楽研究会

1919.五四運動紀念祭 1954

時間五月四日午後五時

場所 芝公会堂(国電浜松町下車都電御成

門下車)

節目

第一部

◇アジア青年の言葉

中国青年……同学総会 呂永和

朝鮮青年……朝学同 金相權

日本青年……全学連 松本登久男 全青婦

越智映忠

母親から息子たちへ……

◇講演

中国の青年運動……野沢豊

現代の青年諸君へ……大山郁夫

第二部

◇歌と踊り

中央合唱団 中国音楽研究会 朝鮮学生文

工隊

第三部

◇中国映画「鉄鋼の戦士」

共催 中国留日同学総会 中国研究全国学

生連合会 在日朝鮮学生同盟

後援 東京華僑総会 日本中国友好協会

一九五四・六・二五 第八五号

—預到新書—

○魯迅作品及其他、○魯迅小説講話、○茅

盾小説講話、○現代中国革命史話、○從秦

始皇到武則天、○中国新文学史稿上・下、

○1954年投考大学指導、○俄華辞典、○

新辞典、○人民新字典、○五用新辞典、○

中国近百年革命史略、○魯迅小説裡的的人

物、○詩詞曲語辭濼積上・下。

中華人民共和國憲法草案 一部予備25円

大安文化貿易株式会社書籍部

本店・東京都千代田区神田猿樂町2ノ11

電話(33) 823番・振替東京12961番

支店・大阪市北区樋上町38(藤ビル)福

岡市材木町10

—新書紹介—

「矛盾論」解説 李達 ¥130

「實踐論」解説 ¥100

学習「為人民服務」田家英 ¥30

社会科学基本知識講座 第1—4冊 胡繩

等 ¥220

論領導者的修養 ¥60

中国工人階級与中国共產党 張帆 ¥60

共產主義人生観 丁大年 ¥20

為過度到社会主義而闘争 人民出版社 ¥20

新中国の新氣象 新華社編 ¥20

政治常識讀本上・下 人民出版社 ¥20

初級政治常識教材 青年出版 ¥20

学文化字典 北京師大編 ¥20

新華字典(附、共同綱領、行政区劃、歴代  
年表) 人民教育出版 ¥300

中華人民共和國分省地圖(普及本) ¥20

○刻紙教材、繪葉書、歌集、年画、文学初  
歩、讀物、各種定期刊行物豊富取揃え

人民中国 一部 ¥20

中国画報 〃 ¥20

專售中文書籍

一九五四・二〇・二五 第八七号

☆安田火災 共榮火災 大成火災 代理店

協同組合 日本華僑經濟合作社

理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常務

理事 黃水錦

東京都港区芝新橋四ノ一四

電話芝(三三)五〇七二・五四六三

一九五四・二一・一 第八八号

☆安田火災 共榮火災 大成火災 代理店

協同組合 日本華僑經濟合作社

理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常務

理事 黃水錦

東京都港区芝新橋四ノ一四

電話芝(三三)五〇七二・五四六三

一九五四・二二・二五 第九〇・九一合

併号

☆安田火災 共榮火災 大成火災 代理店

協同組合 日本華僑經濟合作社

理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常務

理事 黃水錦

東京都港区芝新橋四ノ一四

電話芝(三三)五〇七二・五四六三

一九五四・二二・二五 第九〇・九一合

併号

みんなの学生報にするために

原稿募集!

記事 小品 隨筆 研究 意見 論文 そ

の他 (国文歓迎)

年も暮れよいよ冬休みです。今年私は私た

ち中国人にはわすれることのできない出来

事が多かった。

祖国建設のすばらしい成果、

ジュネーブ会議のかがやかしい勝利、

そして人民憲法が誕生した。

祖国の代表が日本をおとすれた。

これらの歴史的事件を通じて、皆さんは何

を感じたでしょうか。新しい年に、これらの

の感激をもって、何をなすかの希望や計画

がありましたらぜひ御投稿下さい。

◇締切：一月七日

◇送り先：同学總會文化部

會員親睦舞踏会

日時：十二月十九日(日)午後5時

場所：同学会文化ホール

余興：ダンス競技会(賞品あり)

會員の皆さん!

苦しい試験も終わったことでしょう。會員

でない方も誘って、楽しく一夕を過こしま

しょう

東京同学会

一九五五・二・一 第九二号

懸賞募集!

同学總會では會員証を新しく発行するに当

り、會員お皆さまから図案を募集します、

当選者には薄謝を呈します。ふるってご応

募下さい。

総務部より

一九五五・三・一 第九三号

美しく楽しい祖国の歌

コーラス會員募集

時 毎週土曜日六時半より

所 同学總會文化部

新中国歌集——四集 各三〇円

申込みは 東同文化部

一九五五・四・二〇 第九四号

中初級国語講習会 會員募集

中華学友会館後楽寮では数年前から国語講

習会を続けて来ましたが、今般内外の要望

に應えてこれを開放し広く外部から同学会

員、日本の友人、同好の上の参加を歓迎し



ております。どうぞお友達をさそいあつて  
ふるつて御参加下さい。  
期日：四月二十日開講

週二回六時半—八時半

会費：四百五十円（三ヶ月一期）

但し学生会員は二百五十円

講師：中国人学生

場所：中華学友会館（省線飯田橋下車五分  
職安ウラ）文京区小石川一ノ一

☆五・四記念前夜祭☆

青年男女親睦のつどい

今日の輝かしい祖国をもたらす原動力と

なつた五・四記念節が再びめぐつて来まし

た。東京同学会ではこの日を記念して五月

三日に前夜祭を催すことにしました。みん

なで話し合つたり、歌つたりまた踊つたり

してこの日を楽しくそして有意義に過ごそ

うではありませんか！会員でない方も誘い

あつておいで下さい。

期日 五月三日 午後三時より

懇談会 五・四運動を中心にして現在の私達の

問題を語り合おう！

歌の会 午後五時より楽しい中口の歌をみ

んなで歌おう！

舞踏会 午後五時より祖国でも盛んですす

けないで！

場所 東京同学会（国電水道橋下車七分）

一九五五・一〇・一五 第九九号

☆学生報100号を迎えて☆

原稿大募集!!

△学生報に対する意見・批評・感想

△小品・随筆・詩・論文

—国文歓迎—

私たちが自身の学生報にするために積極的に

投稿して下さい

〔締切〕十一月五日

同学総会文化部

一九五五・一一・一 第一〇〇号

祝創刊百号記念

東京華僑総会

創刊百号を祝します

日本中国友好協会

祝 学生報創刊百号（以下7の広告は当祝

賀広告に参加）

東京華僑医師会

亞細亞通信社

日本華僑経済合作社

中国語友の会

前進座書記局

中国音楽研究会

国際新聞東京支社

一九五六・六・一五 第一〇五号

学習国的一大福音

王世沢著

中国語会話教科書

☆内容新穎・語法明晰

☆標付注音符号・並用簡字

経售処：内山書店・極東書店・大安書店

¥100

一九五六・一〇・一 第一〇七号

急募。女子事務員

二十歳前後の人

委細面談

千代田区西神田二の二 同学会

電話(83)二五三九

一九五六・一一・一 第一〇八号

みんなの学生報にするために

原稿募集!

記事 小品 随筆 研究 意見 論文 そ

の他 (国文・日文歓迎)

「国内外において第七回国慶節を祝い、ま

すまず発展する祖国を持つて私達は本当に

幸せだと思ひました。」と一人の会員が感

想をのべています。皆さんのその時々、

折にふれて感じた事などでも御投稿下さい。

◇締切 毎月十日迄

◇送り先 同学総会文化部

一九五七・四・一 第一一三号

図書目録送呈

外務省アジア局監修 霞関会編 価二八〇

〇円

現代中国人名辞典

現代中国の政治・経済・文化各界主要人物

約七〇〇〇名を収録した詳細正確なる辞典

丁秀山・柴垣芳太郎著 価九七〇円  
最新日中貿易通信文

中国語会話入門【初級】価二四〇円

新しい中国語会話【中級】価二六〇円

井上中国新辞典 六八〇円

井上ポケット日華辞典 六五〇円

中国発音小字典 二〇〇円

月刊雑誌 中国語 ￥50千4 予約購読受  
付中!

東京・神田小川町1-10 江南書院 振替

東京10336電話(32) 0395

中国書籍、雑誌の御用命は……

株式会社 極東書店

本社・東京都千代田区神田神保町二の二

TEL(33) 六四三二・七六一七

関西出張所・京都市中京区二条通寺町東入

TEL(9) 七九九一

新書紹介「新中国の音楽」

中国音楽研究会編

一九〇〇年初頭からの中国音楽及びそれに

尽くした人、それを愛好した人々の事が詳

しく書かれてあり、これ一冊で祖国の音楽

の殆どがわかる。又、皆で歌える楽しい歌

が音符つき仮名つきで沢山のっている。一

人一冊は必携の書。皆で覚えて大いに歌お

う。定価は四八〇円。(但し同学会員は、

四百円)

倉石中国語講習会(初級・中級・高級)

四月十六日より新学期・週三回、三ヶ月で

九〇〇円(同学会費は半額)

◇中国語を勉強したい同志の多いこと(八十名)

◇月謝の安いこと(安すぎる?)も比類なし

◇すき腹を忘れる程熱心に教えて下さる先生方(ラテン化新文字使用、発音、文法、歌を習う)

◇習いたての中国語の片言をお互いに使ってみる雰囲気を楽しむ

◇月に一回の懇親会もあり、通学区別いろいろと話し合う

アジア

亜細亜通信ANS

毎日報導 祖国消息 正確迅速 内容豊富

歓迎僑胞訂閱 毎月五〇〇円

東京都中央区築地2-3

電話(34) 57085709

亜細亜通信社 社長李鉄夫

國語講習会

四月より新学期開講

僑胞子弟の入会歓迎!

期間:四月十日-六月二十六日

時間:(水)午後五時半-七時

(土)午後二時半-四時

場所:東京華僑總會

会費:一期六百元(新規の方は入会金百円追加)

主催 東京華僑總會

僑務報

月刊

本刊介紹并解釈僑務政策、交流僑務工作經驗、表揚、僑務工作者、僑眷、僑胞中的先進人物、報導僑眷歸僑(包括華僑學生)的生活情況、僑務機關執行僑務政策的情況、有関国外華僑問題的知識和国外華僑的情況、本刊也作介紹。

每期定価 ￥30(郵費¥8)

預訂全年 ￥300(郵費在內)

大安文化貿易株式会社

本社 東京都千代田区神田猿樂町2-11

電話(29) 9316 振替東京19261

出張所 大阪市北区曾根崎上4-43

電話(34) 2893 振替大阪18375

ル西側 京都市中京区河原町通竹屋町下

電話(3) 5314 振替京都62211

福岡市上東町16

電話(3) 3393 振替福岡10812

中国各種圖書・雜誌 報章・連環画・唱片等 批發販売

中国書店

横浜市中区下町二二三

電話(8) 七六二二

大地報神戸代銷処

中国書籍店

中華文化センター

神戸市生田区北長狹通三丁目十四ノ一

電話三宮(3) 五八九八号

振替口座神戸一五八一五号

☆協同組合日本華僑經濟合作社



理事長 呂漱石 副理事長 劉啓盛 常務理事 黃水錦

東京都港区芝新橋四ノ一四  
電話芝(33)五〇七二・五四六三

協同組合 大同合作社  
理事長 高長増

東京都新宿区四谷二ノ二  
電話(36)五八五九・三三三三番

唯一中文報紙  
大地報

東京都中央区銀座東七ノ二  
電話(51)二四三五番

歡迎入會  
廣泛閉結僑商力量 共同研究貿易対策  
為華僑商社代向祖國各進出口專業公司連絡  
介紹業務並反映情況

東京華僑貿易公會  
中央区日本橋通三丁目四番地島田大樓三階

電話(27)七一一八・七一八九  
電報掛号“CHITRASS” TOKYO

求人！

男子事務員 一名  
一、日本語が上手な人

一、國語が堪能な人  
一、日本貿易界の事情にくわしく興味のある人

一、華僑青年であること  
東京華僑貿易公會

連絡先：同学總會(33) 2739

一九五七・五・一 第二一四号

東京華僑青年親睦  
ダンス・パーティー

日時 5月17日(金) 5時30分  
場所 主婦會館(四ツ谷駅前)

主催 東京華僑青年聯誼會  
H.F.I. 装置テレビ

一僑胞に特別奉仕—  
(池袋「南蛮」現用中のミキサンプ)

◎音樂喫茶店用H.F.I.レコード演奏機  
◎キャバレー用マイク増幅器(H.F.I.)

◎家庭用H.F.I.電蓄、オールウェーブ2,  
3, 4バンド

◎テレビ14吋—32吋4万円より各種  
◎その他特殊機械の設計並びに製作技術相談(月払にも応じます)

真のハイフエアレコード演奏器は測定器の完備した当研究所へ！直接設計と製作を特長としております。

林音響研究所  
仮事務所 渋谷区代々木新町58(京王線初台駅前)

純喫茶ブルーメ内電話(36) 6829呼  
アジア

亞細亞通信ANN S  
每天報導 祖國消息 正確迅速 內容豐富

歡迎僑胞訂閱 每月五〇〇円  
東京都中央区築地2—3

電話(54) 5785-5789

亞細亞通信社 社長 李鉄夫  
唯一中文報紙

大地報  
東京都中央区銀座東七ノ二

電話(33)二四三五番  
中国各種圖書・雜誌 報章・連環畫・唱片

等 批發販売  
中国書店

横浜市中区山下町一三三一  
電話(8)七六一三

新書紹介「新中国の音樂」  
中国音樂研究会編

一九〇〇年初頭からの中国音樂及びそれに  
尽くした人、それを愛好した人々の事が詳  
しく書かれてあり、これ一冊で祖國の音樂  
の殆どがわかる。又、皆で歌える楽しい歌  
が音符つき仮名つきで沢山のっている。一  
人一冊は必携の書。皆で覚えて大いに歌お  
う。定価は四八〇円。(但し同学会々員は、  
四百円)

人民中国  
子約 一ヶ年 360円 半年 170円 1  
部 30円 78円

極東書店  
千代田区神田神保町2—2

TEL(33) 6431・7617  
振替 東京 神田100009番

僑務報月刊  
本刊介紹并解僑務政策、交流僑務工作経  
験、表揚、僑務、工作者、僑眷、帰僑中の

先進人物、報導僑眷歸僑（包括華僑學生）的生活情況、僑務機關執行僑務政策的情況、有閱國外華僑問題的知識和國外華僑的情況、本刊也作介紹。

每期定價 ¥30（郵費¥8）

預訂全年 ¥300（郵費在內）

大安文化貿易株式會社

本社 東京都千代田区神田猿樂町2-11

電話 (29) 5316 振替東京 19261

出張所 大阪府北区曾根崎上4-43

電話 (34) 3893 振替大阪 18375

ル西側 京都市中京区河原町通竹屋町下

電話 (3) 5314 振替京都 62922

福岡市上東町16

電話 (3) 3383 振替福岡 10821

創刊十一年

國際新聞

本社 大阪府西區靱下通二ノ七

振替大阪 一一二六七九番

支社 東京都中央区銀座西八ノ八

電話代表 (27) 六七二二番

電話 (57) 六七二二・七七三四・六七二二

街頭販売……東京都内各主要國電車站

配達範圍……東京都中央、新宿、千代田、

港、渋谷、神奈川縣鶴見、横浜、横須賀等

中國年鑑 一九五七年版

附錄—彩色印刷的最新中國要圖

世界唯一的中国年鑑

有這一冊年鑑能了解新中国全盤情況

一冊 1000 日元 郵費 100 日元

東京神田駿河台下 石崎書店 振替東京

79048

專營進出口貿易

亞東國際興業公司

東京都中央区京橋三丁目九番地

電話京橋 (26) 四四二八番 七四四七番

經營

輸出：医薬品、工業藥品、染料、電氣器具、

機械、鉄鋼製品等

輸入：油脂原料、纖維原料、雜穀、鈦產物、

土產品、各種工業原料等

長江商事株式會社

社長 黃朝福

東京都千代田区丸ノ内三ノ六・三菱四号館

電話 (27) 八二九六・八五八五・八七四一

中日貿易會

專務理事 鈴木一雄

東京都千代田区丸ノ内三ノ六(仲四号會館)

電話 (27) 〇四二六一九

関西事務所 大阪府東區安土町二ノ五二

(工業纖維ビル)

★接洽中日貿易的一切問題★

歡迎入會

廣泛團結僑商力量 共同研究貿易對策 為

華僑商社代向祖國各進出口專業公司連絡介

紹業務並反映情況

東京華僑貿易公會

中央区日本橋通三丁目四番地烏田大樓三階

電話 (27) 七一八八・七一八九

電報掛号 "CHITPASS" TOKYO  
中國圖書專門

大安文化貿易株式會社書籍部

本社：東京都千代田区神田猿樂町二ノ十一

電話 (29) 八二二五・九三一六

振替 (東京) 一九二六

大阪：大阪府北区永樂町六番地

電話 (34) 二八九三・振替大阪 一八三三七

福岡：福岡市上東町十六番地

電話 (3) 三三三九三・振替福岡 一〇八二二

販売圖書

中國原書・新聞・雜誌 地圖・美術圖書・

年画 連環画・歌本・繪葉書 辭典・年

鑑・特別輸入 毛筆・紙張・墨・朱肉

一九五七・六・一 第一一五号

☆安田火災 共榮火災保險會社 代理店

協同組合 日本華僑經濟合作社

東京都港区芝新橋三ノ四

電話芝 (43) 5072 5463・8882・8133

中國書籍・雜誌の御用命は……

株式會社 極東書店

日曜營業

本社 東京都千代田区神田神保町二ノ二二

TEL (33) 6317617

関西出張所 京都市中京区二条通寺町東入

TEL (3) 7992

經營進出口貿易

輸出 医薬品、工業藥品、染料、電氣器具、

機械、鉄鋼製品、儀器等



輸入 油脂原料、纖維原料、雜糧、鉍産物、土産品、食料品等  
 長江商事株式會社  
 東京都千代田区丸ノ内三ノ六三愛仲四号館  
 電話(55)八二九六・八五八五・八七四一  
 新書紹介「新中国の音楽」  
 中国音楽研究會編  
 一九〇〇年初頭からの中国音楽及びそれに尽くした人、それを愛好した人々の事が詳しく書かれてあり、これ一冊で祖国の音楽の殆どがわかる。又、皆で歌える楽しい歌が音符つき仮名つきで沢山のつっている。一人一冊は必携の書。皆で覚えて大いに歌おう。定価は四八〇円。(但し同学会々員は、四百円)  
 中国各種圖書・雜誌 報章・連環画・唱片等 批發販売  
 中国書店  
 横浜市中区山下町一三三  
 電話(8)七六一三  
 アジア  
 亞細亞通信 ANS  
 毎日報導 祖国消息 正確迅速 内容豊富  
 歡迎僑胞訂閱 毎月五〇〇円  
 東京都中央区築地2-1-3  
 電話(54)5708-5709  
 亞細亞通信社社長 李鉄夫  
 中日貿易會  
 専務理事 鈴木一雄  
 東京都千代田区丸ノ内三ノ六(仲四号會館)

電話(55)〇四二六一九  
 関西事務所 大阪市東区安土町二ノ五二(工業纖維ビル)  
 ★接洽中日貿易的一切問題★  
 唯一中文報紙  
 大地報  
 東京都中央区銀座東七ノ二  
 電話(55)二四三三五番  
 歡迎入會  
 廣泛團結僑商力量 共同研究貿易対策 為華僑商社代向祖國各進出口專業公司連絡介紹業務並反映情況  
 東京華僑貿易公會  
 中央区日本橋通三丁目四番地島田大樓三階  
 電話(55)七一八八・七一八九  
 電報掛号“CHITRASS” TOKYO  
 中國年鑑 一九五七年版  
 附録—彩色印刷の最新中國要圖  
 世界唯一的中國年鑑  
 有這一冊年鑑能了解新中國全盤情況  
 一冊1000日元 郵費100日元  
 東京神田駿河台下 石崎書店 振替東京79048  
 僑務報 月刊  
 本刊介紹并解讀僑務政策、交流僑務工作經驗、表揚 僑務 工作者、僑眷、歸僑中的先進人物、報導僑眷歸僑(包括華僑學生)的生活情況、僑務機關執行僑務政策的情況、有閩外華僑問題的知識和閩外華僑的情況、本刊也作介紹。

每期定價 ¥80(郵費¥8)  
 預訂全年 ¥800(郵費在內)  
 大安文化貿易株式會社  
 本社 東京都千代田区神田猿樂町2-11  
 電話(39)8316 振替東京19261  
 出張所 大阪府北区曾根崎上4-43  
 電話(34)8288 振替大阪12875  
 西側  
 〃 京都市中京区河原町通竹屋町下ル  
 電話(3)6314 振替京都6222  
 〃 福岡市上東町16  
 電話(3)3393 振替福岡10821  
 \*原稿募集。  
 隨筆・詩・小説・論文・感想文・讀書評……  
 投稿は東京都千代田区西神田二ノ二 中国留日同学總會學生報の編集室迄  
 産婦人科 アツマ医院  
 武蔵野市吉祥寺二〇八〇  
 劉潤波  
 電話(022)三三五八  
 中国圖書專門  
 大安文化貿易株式會社書籍部  
 本社：東京都千代田区神田猿樂町二ノ十一  
 電話(8)八二二五・九三二一六  
 振替(東京)一九二六  
 大阪：大阪府北区永楽町六番地  
 電話(3)二八九三・振替大阪一八三三七三  
 福岡：福岡市上東町十六番地  
 電話(3)三三三三・振替福岡一〇八二二

販売図書

中国原書・新聞・雑誌 地図・美術図書・年画 連環画・歌本・絵葉書 辞典・年鑑・特別輸入 毛筆・紙張・墨・朱肉 営業種目

進口・糧穀、油脂、羊毛、棉花、食料品、土産品、磁産品等。

出口・化工薬品、医薬品、染料、織維品、五金類、儀器、機械等。

新光貿易株式会社

社址……東京都中央区京橋二ノ三

電報掛号・NEWSUNTRA、TOKYO

電話・(56)一八〇二・五七九三

専營進出口貿易

亞東國際興業公司東京都中央区京橋三丁目

九番地

電話京橋(56)一四四二八番 七四四七番

学生の店名曲と珈琲らんぶる

リクエスト曲の予約を承ります

神田神保町店 TEL (39) 94480

西銀座店 TEL (57) 1991

一九五七・七・一 第二一六号

☆安田火災・共栄火災保険会社代理店

出典・『中国留日学生報』の一九四七年三月一日刊行の第三号から一九五七年七月一日刊行の第二一六号(中には欠号や一部の紙面しかない号もある)の全二八一件の広告記事に基づき、筆者が整理し、作成した。注記・広告記事には旧漢字と新漢字が併記されている部分がある。それはもともとの記事の表記のままである。新聞上での記載状況を表現するため、本表ではあえて修正せずにそのまま載せた。

協同組合 日本華僑経済合作社

東京都港区芝新橋三ノ四

電話芝(43) 5072 5463 8882 8123

中日貿易会 専務理事 鈴木一雄

東京都千代田区丸ノ内三ノ六(仲四号会館)

電話(57)〇四二六一九

関西事務所 大阪市東区安土町二ノ五二

(工業織維ビル)

★接洽中切問日貿易的★

唯一中文報紙

大地報

東京都中央区銀座東七ノ二

電話(57)二四三五番

III.F.装置・テレビ

一 僑胞に特別奉仕

營業種目◎音楽喫茶店用レコード 三三三演奏機

◎キヤバレー用マイク 三三三増巾器◎家庭用 三三三電番◎テレビその他注文応

主な納入先 池袋 南蛮新女苑キヤバレー

丸の内クラブ 荻窪 小鹿唄う山小屋 旭

産業

林音響研究所

渋谷区代々木新町58(京王線初台駅前)

電話(36) 6239(呼)

中国書籍、雑誌の御用命は……

株式会社極東書店

本社・東京都千代田区神田神保町二の二

TEL(33) 六四三一・七六一七

関西出張所・京都市中京区三条通寺町東入

TEL(3) 七九九二

國語講習会

7月10日より新期開講予定

期日・毎星期三、星期六

時間・(星期三) 下午5点半—7点

(星期六) 下午2点半—4点

地点・東京華僑協会

会費・二期(3個月) 600円

(新規の方は入会金百円要)

歡迎華僑子弟參加

東京華僑總會

經營進出口貿易

輸出 医薬品、工業薬品、染料、電気器具、機械、鉄鋼製品、儀器

輸入 油脂原料、織維原料、雜糧、鉱産物、土産品、食料品等

長江商事株式会社

東京都千代田区丸ノ内三ノ六三菱仲四号館

電話(57) 八二九六・八五八五・八七四一



## おわりに

本稿での『学生報』の広告記事に関する分析を通じて、以下の結論が得られた。

広告記事における言語の使用状況から、日本語のみで書かれたものが全体の九〇%以上を占め、広告主からすれば、中国語より日本語の方が宣伝効果は高いと判断していたことが明らかとなった。同学総会の会員に台湾出身の学生や華僑学生が多く含まれていた点などから、『学生報』の読者層の共通言語は中国語ではなく、日本語であることも分かった。

『学生報』に広告を出した広告主の業種や組織別の性質に関する分析を通じて、同学総会は財務危機に陥り支援が必要な時期には在日華僑系企業（飲食店や食品店のオーナーも在日華僑が多い）、在日中国人団体に広告を依頼する傾向を強めることが確認された。この結果からは、同学総会が在日華僑及び在日中国人団体とのネットワーク構築を重視していたことも示唆される。また、中国関連書籍・雑誌を出版・販売する出版社、新聞社、書店が主な広告主の一角を占めたことは、『学生報』への広告掲載による高い宣伝効果が出版業界やマスコミの間で広く認識されていた可能性をうかがわせる。

そして、財務危機に陥るたびに、『学生報』で広告収入に依存する手法への回帰が見られた。同学総会は組織としての財務危機や中国人留日学生の生活難を解決するため、日本政府や国府、さらには人民政府に支援を求める手法も使用した。こうした手法で支援が得られ、同学総会の財務事情が良くなると広告への依存を減らすものの、支援が打ち切られると、在日華僑系企業や在日中国人団体に援助を求めるようになる。同学総会は、こうしたサイクルから抜け出せなかったという厳しい評価が妥当な見方かもしれない。

なお、筆者は『学生報』だけではなく、当時刊行されているこれらの団体が発行した新聞・雑誌に掲載された広告記事も史料価値が十分あり、こうした広告記事を調査すれば、これまで判明しなかった中国人留日学生団体や中国関連団体の活動状況、機関誌の出版事情や留日学生、華僑の個人史などの史実解明につながると考えている。同学総会の活動の全容を解明するため、当時刊行されていた他の関連団体の機関誌の広告記事を調査することは、今後の課題としたい。

本稿は日本学術振興会科学研究費（基盤研究C）「戦後日中関係史の再検討・国共双方の対日工作の展開と中国人団体・中国関連団体の役割」（研究代表者：荒川雪（王雪萍）、研究課題／領域番号21K00910）、科学研究費（基盤研究C）「冷戦期中国外交の形成―人事システムを中心に―」（研究代表者：荒川雪（王雪萍）、研究課題／領域番号17K02042）、科学研究費（基盤研究B）「教育の交流と東アジア国際関係―中国人留学生の派遣と支援」（研究代表者：孫安石、研究課題／領域番号17H02686）、科学研究費（基盤研究B）「戦後冷戦初期日本の華僑社会に関する実証的研究・東アジア秩序の再構築」（研究代表者：陳榮幸、研究課題／領域番号18H00703）、東洋大学井上円了記念研究助成「冷戦初期日本共産党と中国共産党による在日中国人留学生団体への指導体制に関する実証的研究」（研究代表者：荒川雪）による研究成果である。本稿は「広告から見る戦後中国人留日学生団体機関誌の読者、ネットワークと運営―中国留日同学総会機関紙『中国留日学生報』（1947-1967）を資料に―」「アジア文化研究所研究年報」（東洋大学アジア文化研究所）第五五号、九七、一〇九頁、二〇二一年二月）を基に加筆修正を行って完成した。また本稿執筆の過程では、広告研究について、東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科の蘭部靖史教授から数多くの助言を頂いた。このことを記して感謝申し上げます。



【注】

「学生報」は、創刊当初の「中華民國留日学生旬報」から、「中華留日学生報」、「中国留日学生報」と、何度か改名している。ゆえに、本稿では同紙について考察する際、略称の「学生報」で表記統一したが、注釈と図表には当該号の正式名称を記した。

(一) 王雪萍・田沼彬文「中国留日学生報」記事目録「大里浩秋・孫安石編『近現代中国人留学生の諸相——「管理」と「交流」を中心に』（御茶の水書房、五二九～六三五頁、二〇一五年）。王雪萍「在日中国人メディアが記録した留日学生の思想の変化——中国留日同学総会の機関紙『中国留日学生報』（1947-1949）を手がかりに——」（東洋大学社会学部）第五七一—号、二〇一八年二月）。

(二) 何義麟「戦後在日台湾人的処境与認同」（五南出版、二〇一五年）。田遠「戦後直後における中国人留日学生の境遇と選択——1945-1952——主に『中国留日学生報』を通じて」（神奈川大学大学院外国語研究科博士論文、二〇一四年三月）。田遠「一九四五年終戦直後の中国人留日学生の境遇と選択——プランケ文庫で辿る「国家像」」（中国文庫株式会社、二〇一七年）。

(三) 王雪萍「救済・召還をめぐる国府の中国人留日学生政策の迷走——中華民国教育部・外交部档案を手がかりに」大里浩秋・孫安石編『近現代中国人留学生の諸相——「管理」と「交流」を中心に』（御茶の水書房、二〇五～二四四頁、二〇一五年）。王雪萍「留日学生の選択——〈愛国〉と〈歴史〉」劉傑・川島真編『1945年の歴史認識』（東京大学出版会、二〇一三年）二二頁、二〇〇九年）。

(四) 王雪萍「戦後期日本における中国人留学生の生活難と政治姿勢をめぐる葛藤——救済金問題を事例に——」大里浩秋編著『戦後日本と中国・朝鮮——プランケ文庫を二つの手がかりとして』（研文出版、八三～一九頁、二〇一三年）。

(五) 伊吹勇亮・川北眞紀子・北見幸一・関谷直也・蘭部靖史「広報・PR論——パブリック・リレーションズの理論と実践——」（有斐閣、四～六頁、二〇一四年）。

(六) 前掲王雪萍「在日中国人メディアが記録した留日学生の思想の変化——中国留日同学総会の機関紙『中国留日学生報』（1947-1949）を手がかりに——」（二一～三八頁）。

(七) 「学生報の自主性——編集委員会の確立」、「哑吧的喉嚨」『中華留日学生報』一九四七年七月一日（第七号）。

(八) 前掲王雪萍「救済・召還をめぐる国府の中国人留日学生政策の迷走——中華民国教育部・外交部档案を手がかりに——」（二〇

五、二四四頁。前掲王雪萍「戦後期日本における中国人留学生の生活難と政治姿勢をめぐる葛藤―救済金問題を事例に―」  
八三、一一九頁。

(一〇)「留日学生救済基金 十二万ドルの行方は? 奇怪な代表団の措置」『中国留日学生報』一九四九年八月一日(第三四号)。

(一一)前掲王雪萍「戦後期日本における中国人留学生の生活難と政治姿勢をめぐる葛藤―救済金問題を事例に―」八三、一一九頁。

(一二)「中国木刻集(非売品)」『中国留日学生報』一九五〇年二月一日(第三九号)。

(一三)「抵御台湾当局の圧迫和日本警察の侵襲」北京日本婦僑聯誼会『中国留日同学総会20年』編輯部編『中国留日同学総会20年』(北京日本婦僑聯誼会、三七、三九頁、二〇一五年)。

(一四)前掲王雪萍「戦後期日本における中国人留学生の生活難と政治姿勢をめぐる葛藤―救済金問題を事例に―」八三、一一九頁。

(一五)「地球座」『中国留日学生報』一九五二年二月一日(第一二期第一号)。

(一六)「林以文氏の美拳 奨学会に五十万円」『中国留日学生報』一九四九年一月一日(第三六号)。

(一七)「反共署名はかように行われた 書換られた筋骨 署名引換えに弁当 僑民えの最大の侮辱」『中国留日学生報』一九五三年三月五日(第六七号)。

(一八)前掲王雪萍「戦後期日本における中国人留学生の生活難と政治姿勢をめぐる葛藤―救済金問題を事例に―」八三、一一九頁。前掲王雪萍「留日学生の選択―(愛国)と(歴史)―」二〇三、二三三頁。

(一九)前掲王雪萍「戦後期日本における中国人留学生の生活難と政治姿勢をめぐる葛藤―救済金問題を事例に―」八三、一一九頁。

(二〇)日本華僑華人研究会編『日本華僑・留學生運動史』(日本僑報社、二〇〇四年)一四九頁によると『東風』の創刊は一九六一年八月であり、筆者が陳立清氏の遺族から寄贈を受けた『東風』誌第四号の編集後記では『東風』の創刊を第四号刊行(一九六二年)の前年の夏であると説明していることから、陳立清氏が『学生報』の編集作業から引退した理由は『東風』の編集作業のためではないことが明らかである。だが、『編集室』『中国留日学生報』一九五七年三月一日によると、一九



五七年三月の時点で、陳立清氏はすでに「学生報」の編集から離れている事実が確認できる。

(一三) 前掲王吉萍「在日中国人メディアが記録した留日学生思想の変化―中国留日同学総会の機関紙『中国留日学生報』1917-1949」を参考にし、一〇三―一〇八頁。

(一四) 「帰国促進運動に誤り 執行委員会自己批判」『中国留日学生報』一九五七年五月一日。

神奈川大学人文学研究叢書46

明治から昭和の中国人日本留学の諸相

二〇二二年三月三日 初版第一刷発行

編著者 ● 孫安石・大里浩秋

発行者 ● 山田真史

発売所 ● 株式会社東方書店

東京都千代田区神田神保町一―三二一〇―一〇〇五―

電話〇三―三二九四―一〇〇一

営業電話〇三―三九三七―〇三〇〇

編集協力 ● 古屋順子(ともえ企画)

装 幀 ● 富澤崇 (EBranch)

印刷・製本 ● (株) デイケ

定価はカバーに表示してあります

© 2022 孫安石・大里浩秋

ISBN978-4-497-22205-3 C3021

Printed in Japan

乱丁・落丁本はお取り替えいたしません。

恐れ入りますが直接小社までお送りください。

Ⓜ 本書を無断で複製複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き禁じられています。本書をコピーされる場合は、事前に日本複製権センター（JRRC）の許諾を受けてください。

JRRC (<http://www.jrcc.or.jp> Eメール: [info@jrcc.or.jp](mailto:info@jrcc.or.jp) 電話: 03-3401-2382)  
小社ホームページ(中国・本の情報館)で小社出版物のご案内をしています。  
<https://www.toho-shoten.co.jp/>